



カーマ帝国が、地球侵略を決定的に優位へと導くため
に生み出した禁断の兵器——

その名は、ピュアチェーンブレス。

それは“純潔エネルギー”を極限まで増幅し、
圧倒的な攻撃力へと転換するための装置。

だが、その誕生の裏側には、想像を絶する犠牲と苦痛
が横たわっていた。

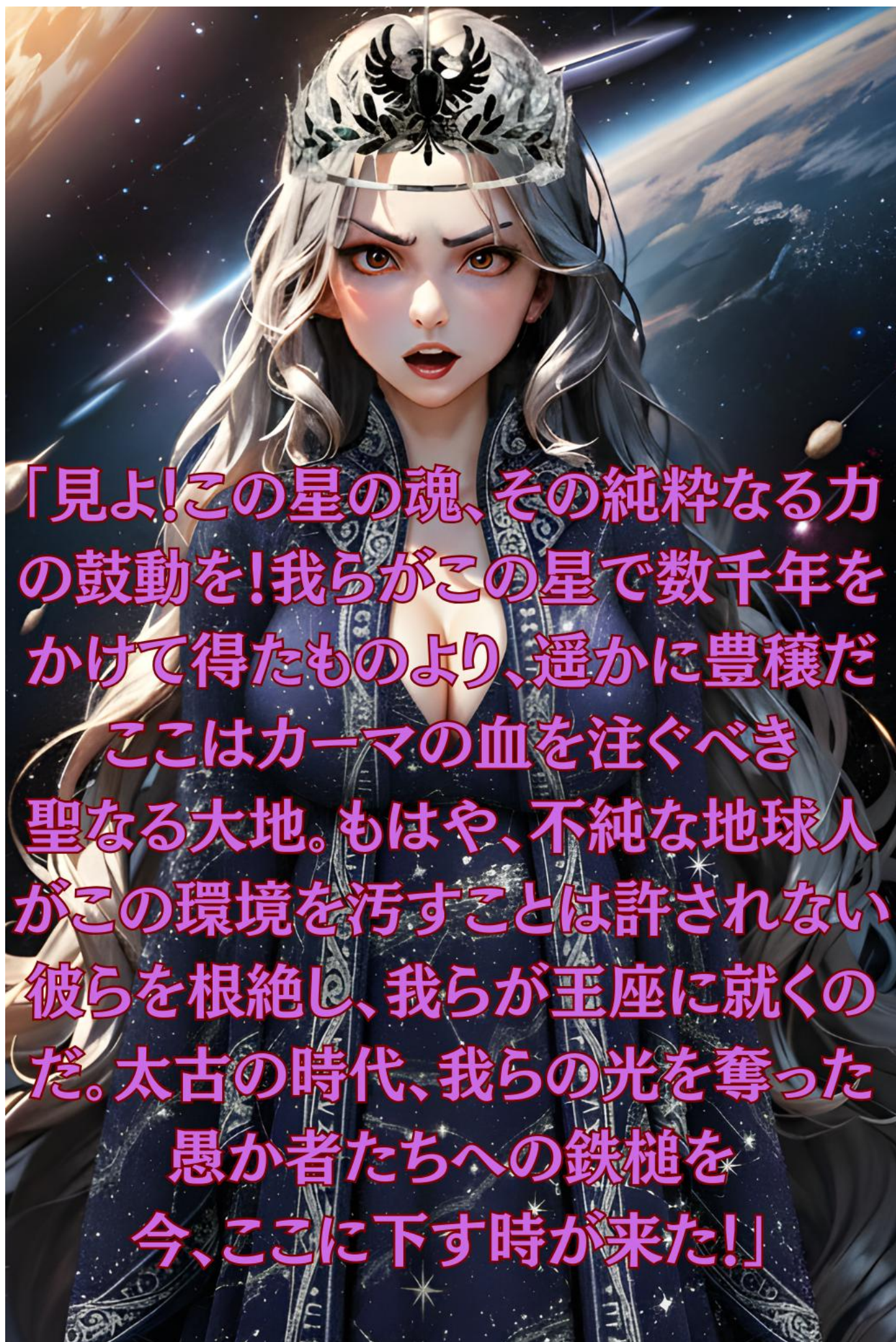
数え切れぬ生命が試作と失敗の果てに消え、
そうしてようやく、完成へと辿り着いたのである。



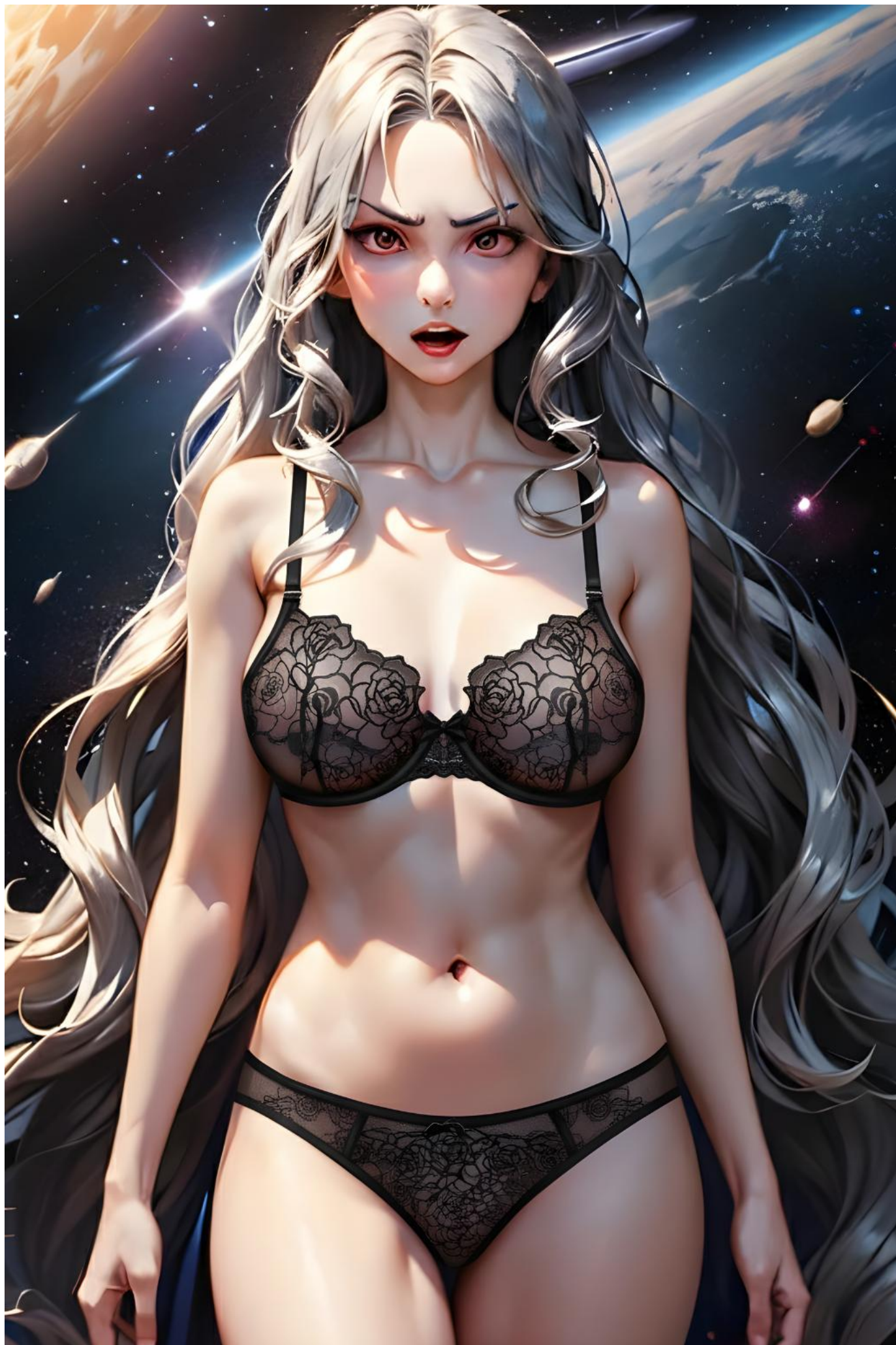
いま——

幾多の悲劇を宿したそのブレスレットを中心に、
新たな運命が動き出そうとしていた。

静かに、しかし確実に。
物語は、ここから始まる。



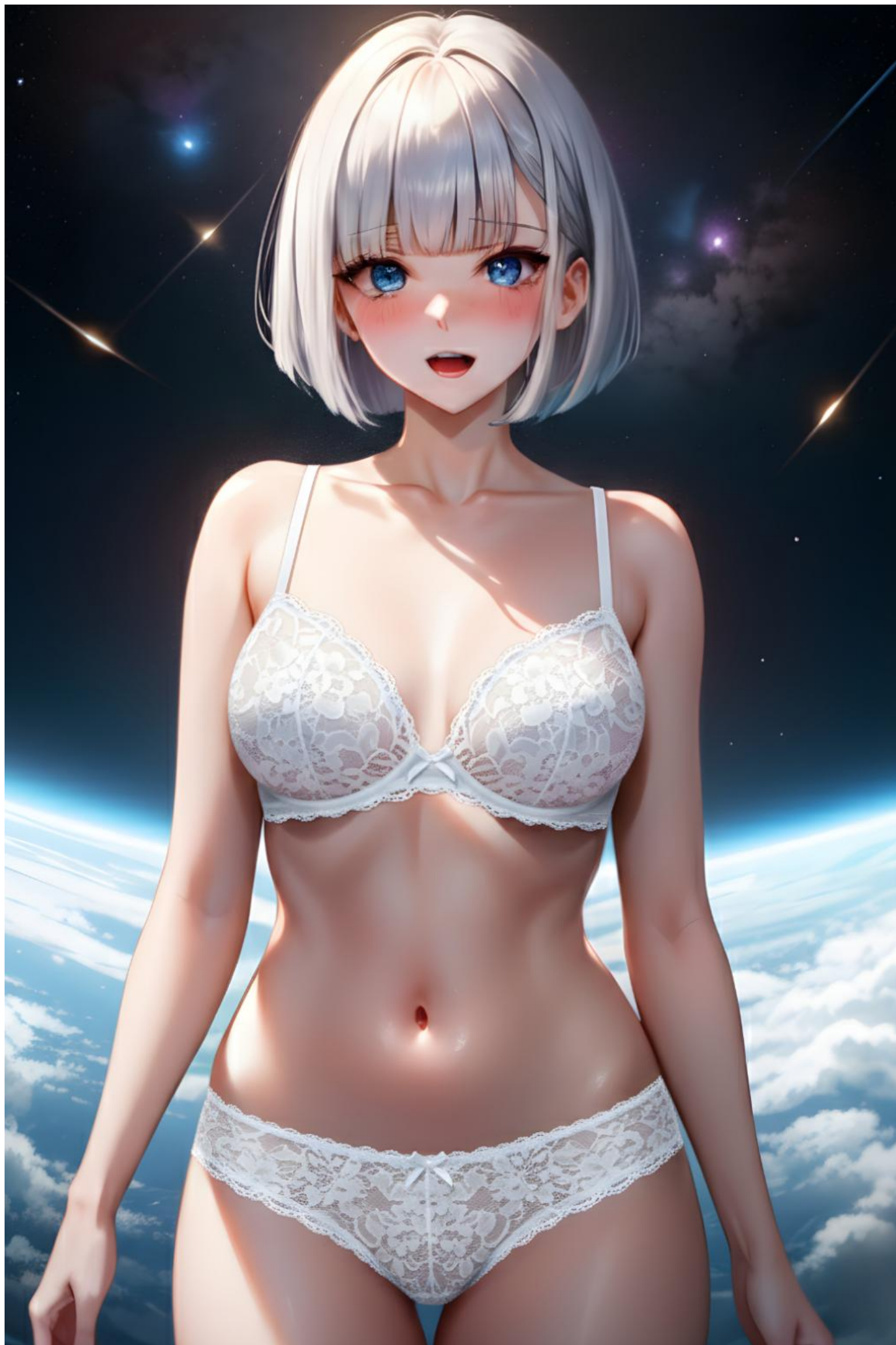
「見よ!この星の魂、その純粹なる力の鼓動を!我らがこの星で数千年をかけて得たものより、遥かに豊穡だ
ここはカーマの血を注ぐべき
聖なる大地。もはや、不純な地球人がこの環境を汚すことは許されない
彼らを根絶し、我らが王座に就くのだ。太古の時代、我らの光を奪った
愚か者たちへの鉄槌を
今、ここに下す時が来た!」







「.....お母様、
その“先祖を追放した者たち”は、
今の地球人ではありません」







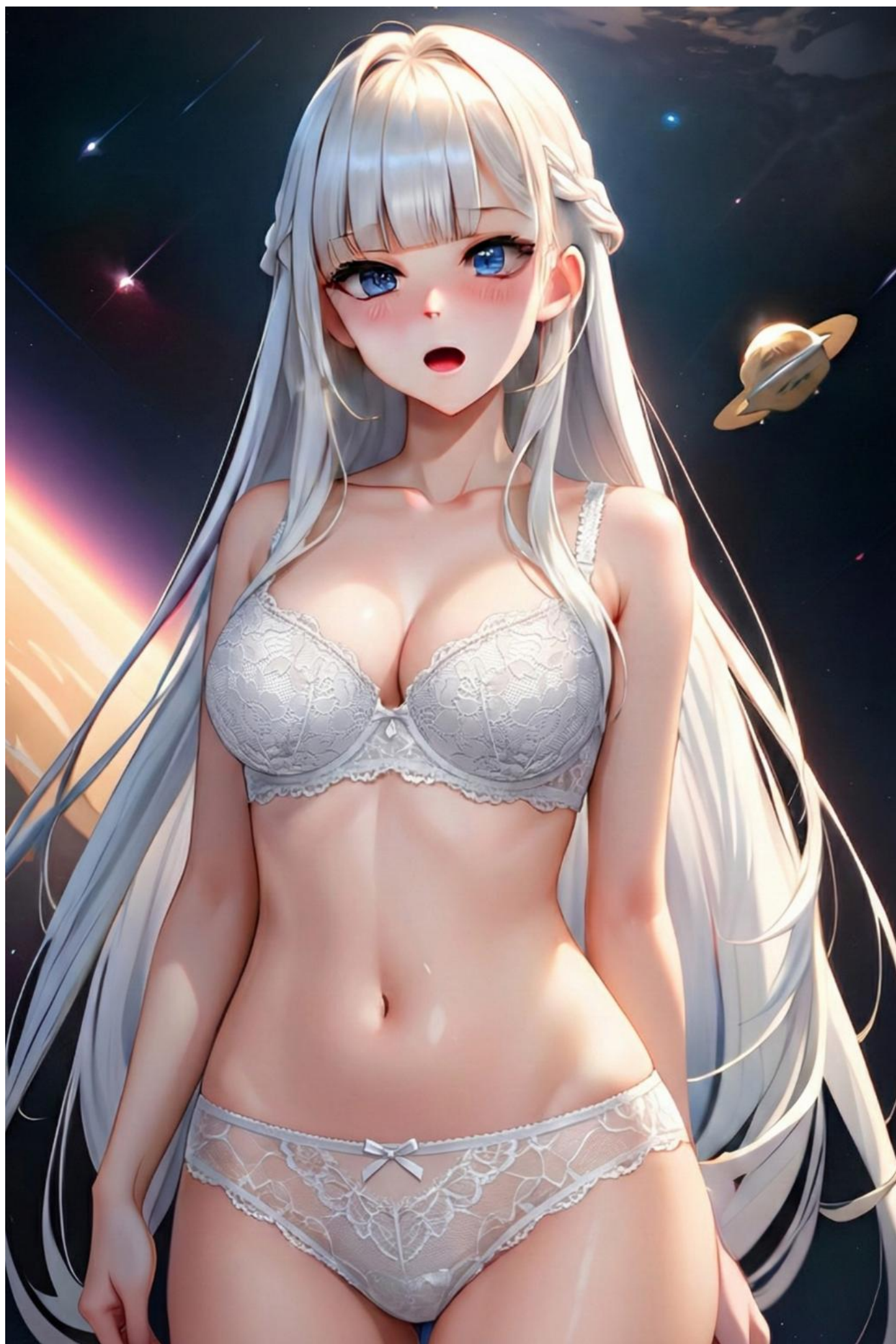
「甘いな、リリス、罪は血に刻まれる
我らを追放した“種族”が
地球人だ」



「種族ではなく、“文明の違う
時代の人々”です！
彼らはもう存在していない！
今の地球人は何も知らず
ただ平和に生きているだけ……」



「リリス、その優しさは私たちを滅ぼす。感情に流されている時ではないわ。私たちは帝国の生存というより大きな責務を負っているもはや感傷は無用彼らが享受した命の循環を私たちが継承しなければ帝国は死に絶えるのこれは、私たちの民のための聖戦」



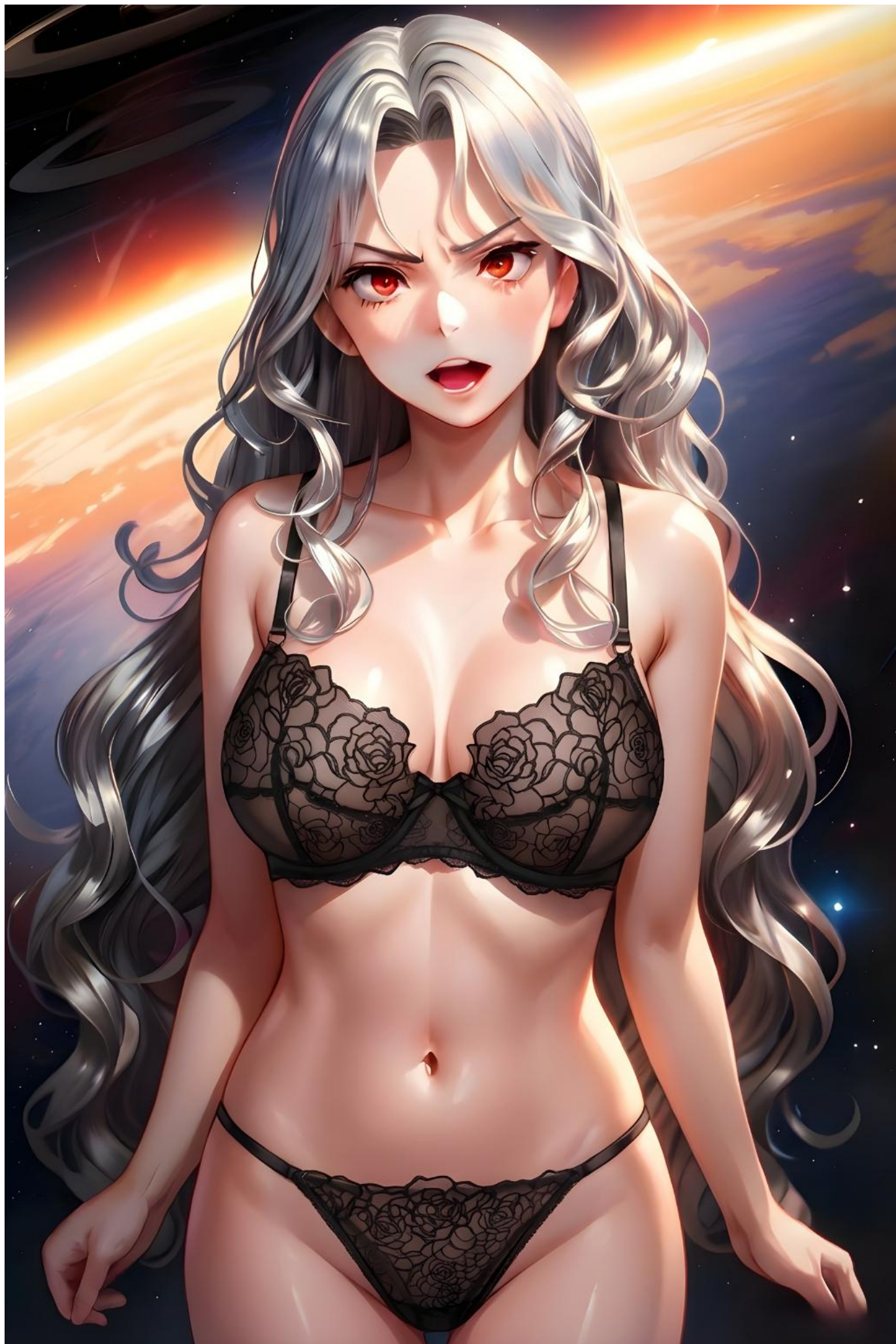




「違う!奪ってはいけない……!
それはただの侵略で、虐殺よ!」



「リリス、お前は皇女でありながら
敵の民を庇うと言うのか？」







「敵ではありません！
地球人は、私たちと同じ
“生きている人間”です！」



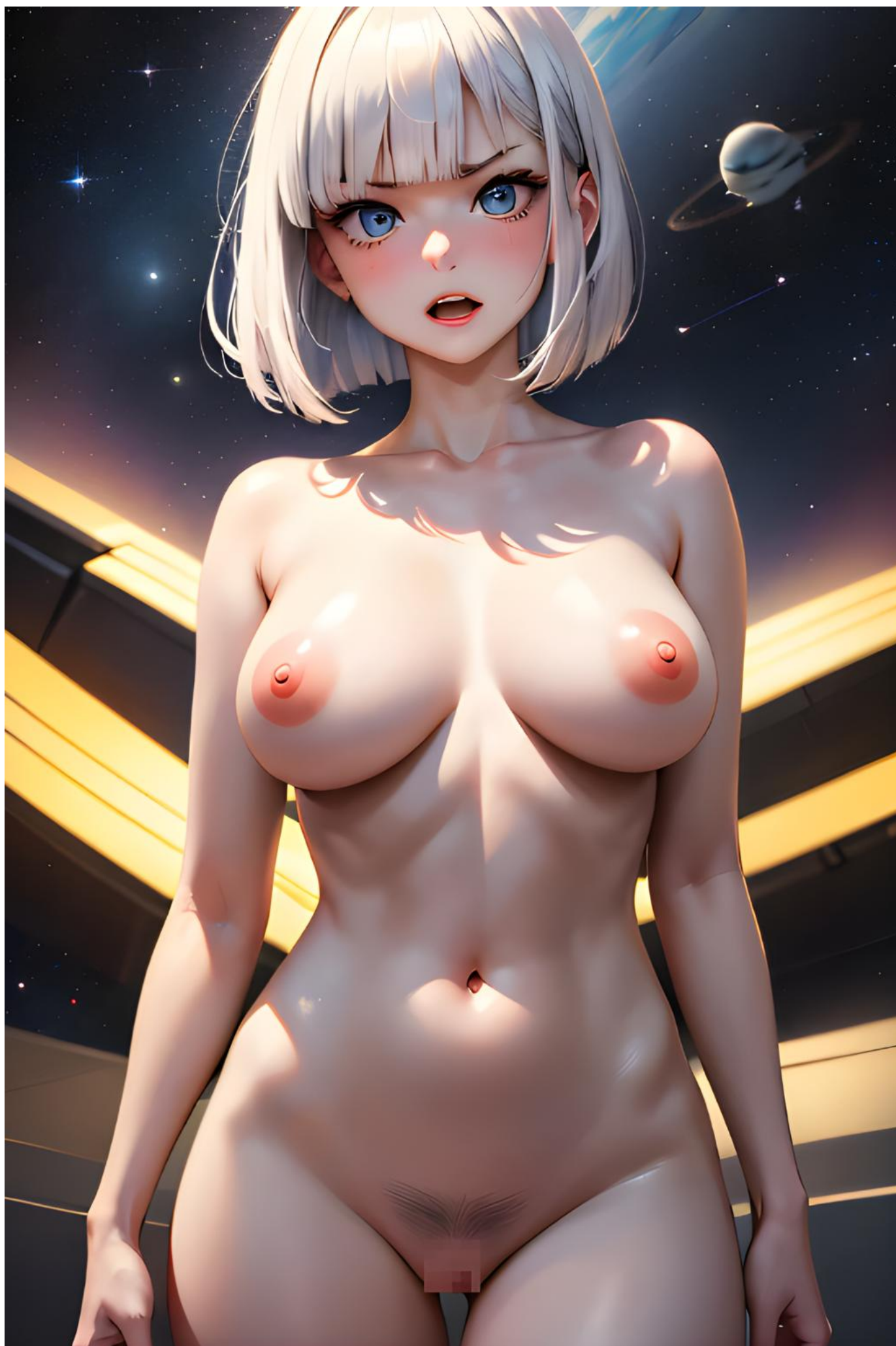
「……では、問おう。
もし地球に移住しなければ
我らの帝国は百年以内に滅びる
それでも“彼らを守る”と？」



「はい……

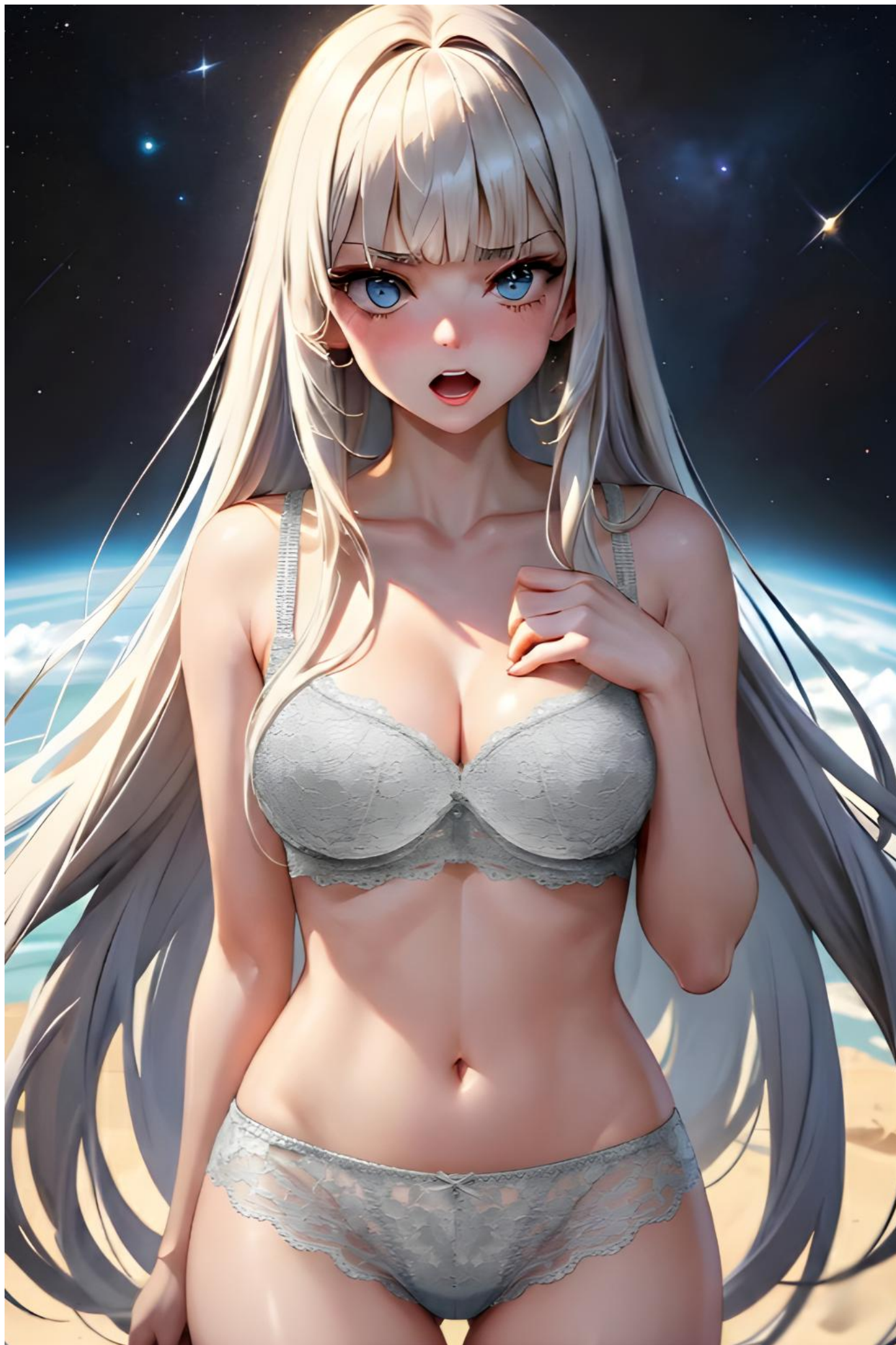
他者の犠牲の上で生き延びる
未来に、価値はありません
私はそう思います」







「それは偽善に他ならない
あなたが理解しているのは
絵空事の平和だけ
帝国が幾度、飢餓の淵で喘ぎ
どれほどの苦渋を味わってきたか
この世界は、犠牲という名の土台の
上でしか成り立たない
それは既に、議論の余地のない
事実なのよ」







「だからこそ……
これ以上、同じ“悲劇”を
繰り返しちゃいけないの!!」



「リリス、お前の言葉は
理想としては美しい
だが……帝国は理想では動かぬ
我が民を救うためなら
私は悪魔にもなろう
その道を邪魔するのなら
たとえ娘でも許さぬ!」



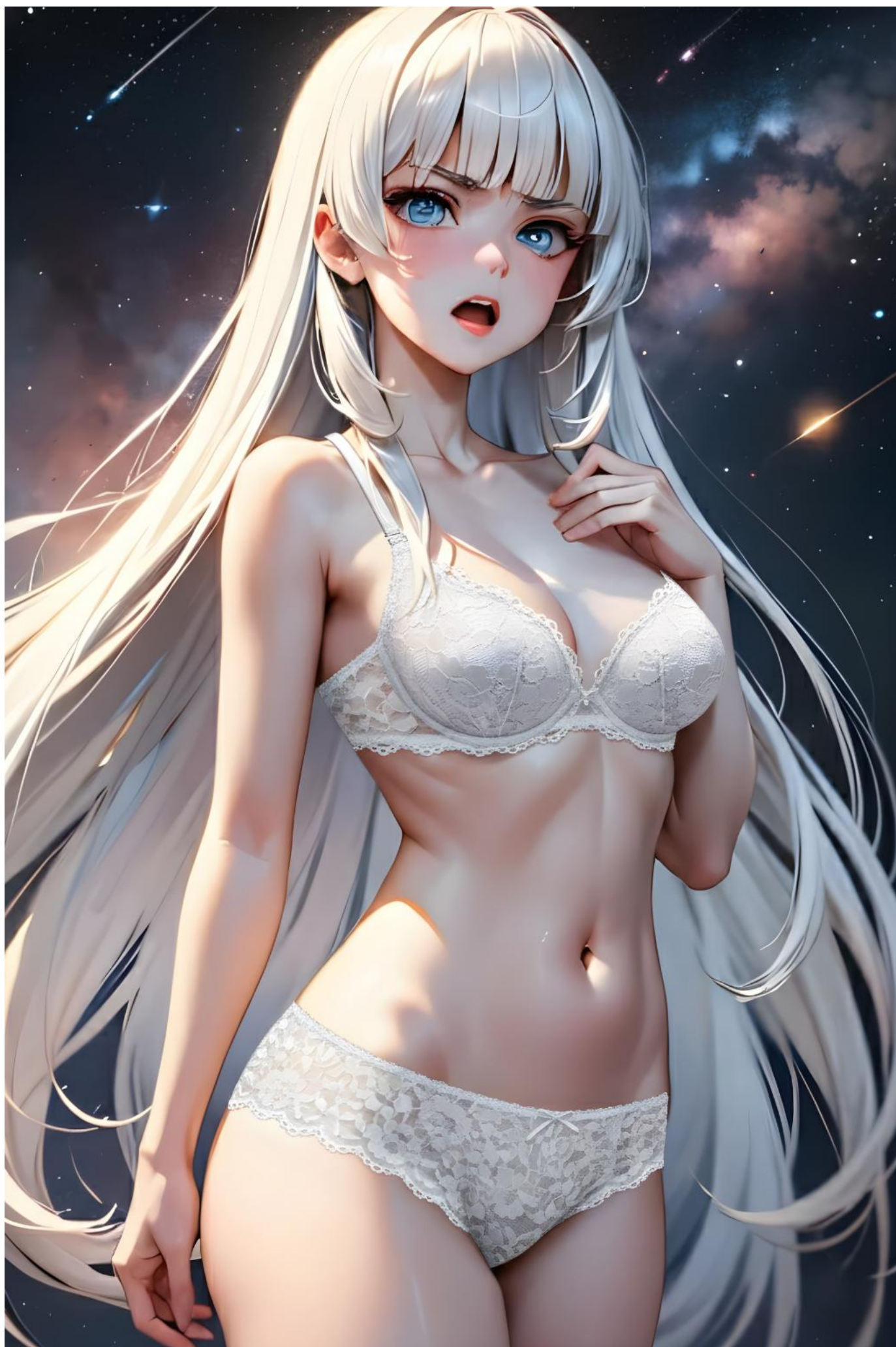
「私は……帝国を止めます
そして…地球人を守ります」



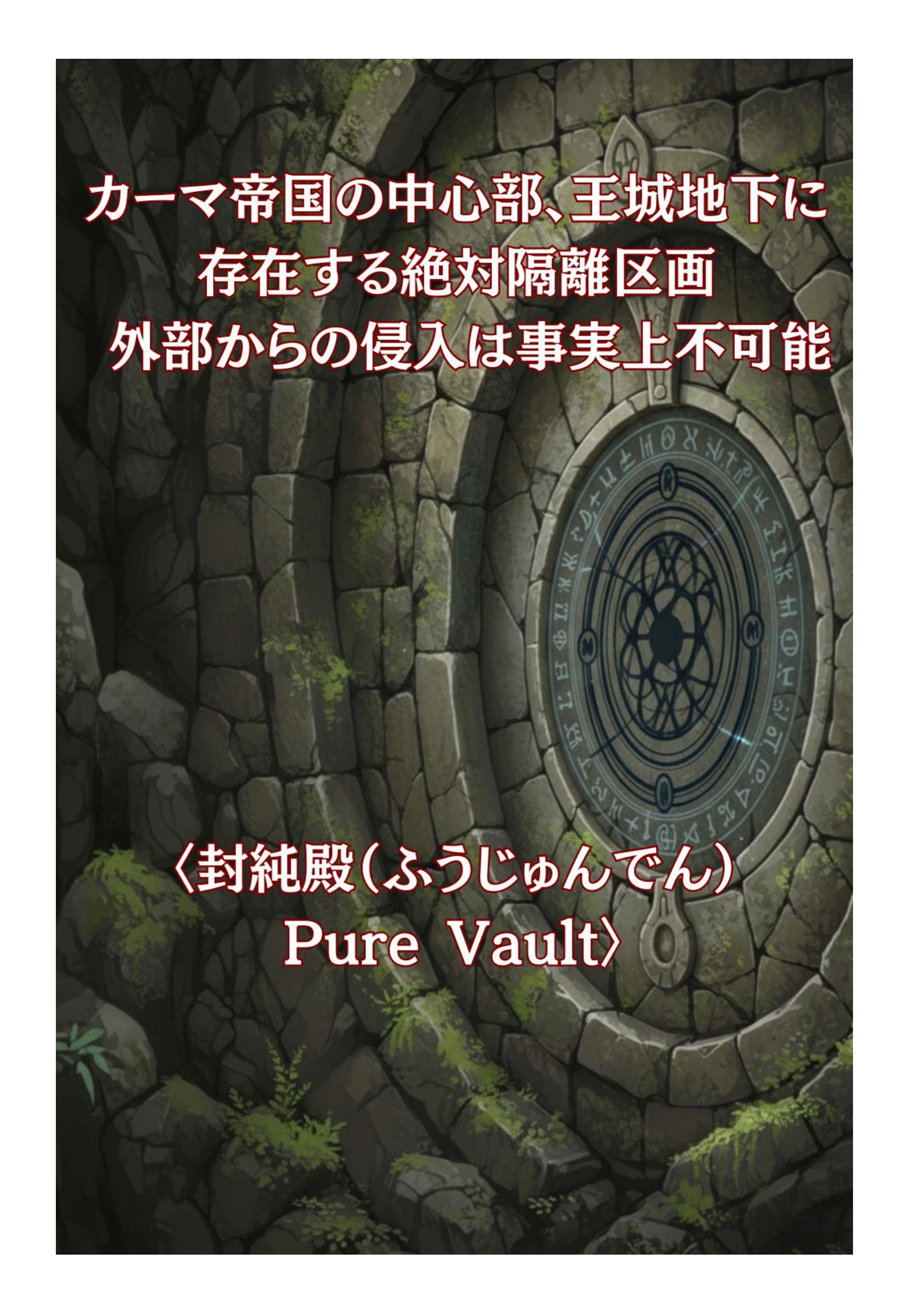




「ならば、立ちはだかるのはこの私
よ。あなたの知る「姉」は
もはや存在しない
これは、帝国第一皇女としての
絶対の意志であると知りなさい!」

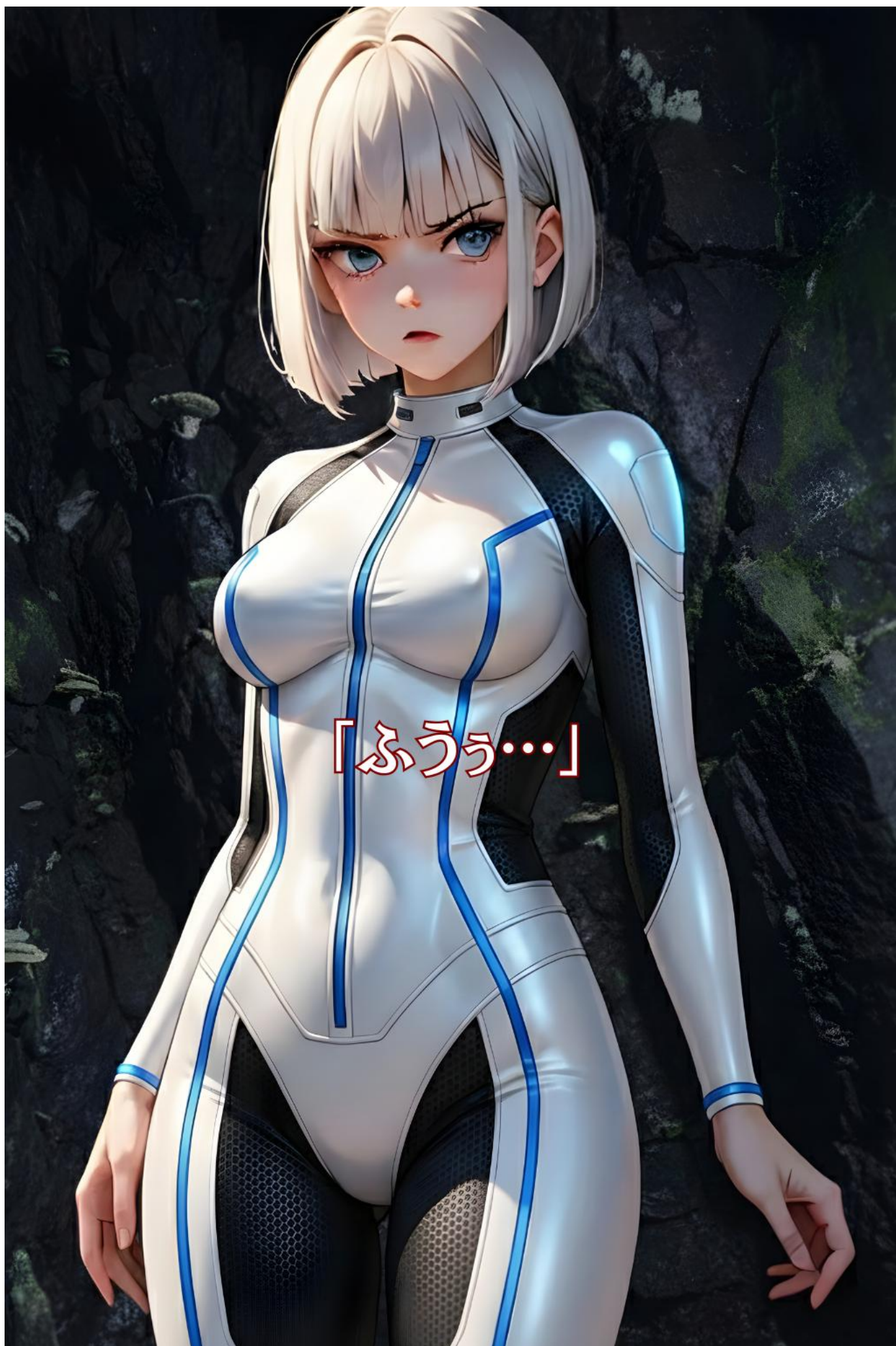




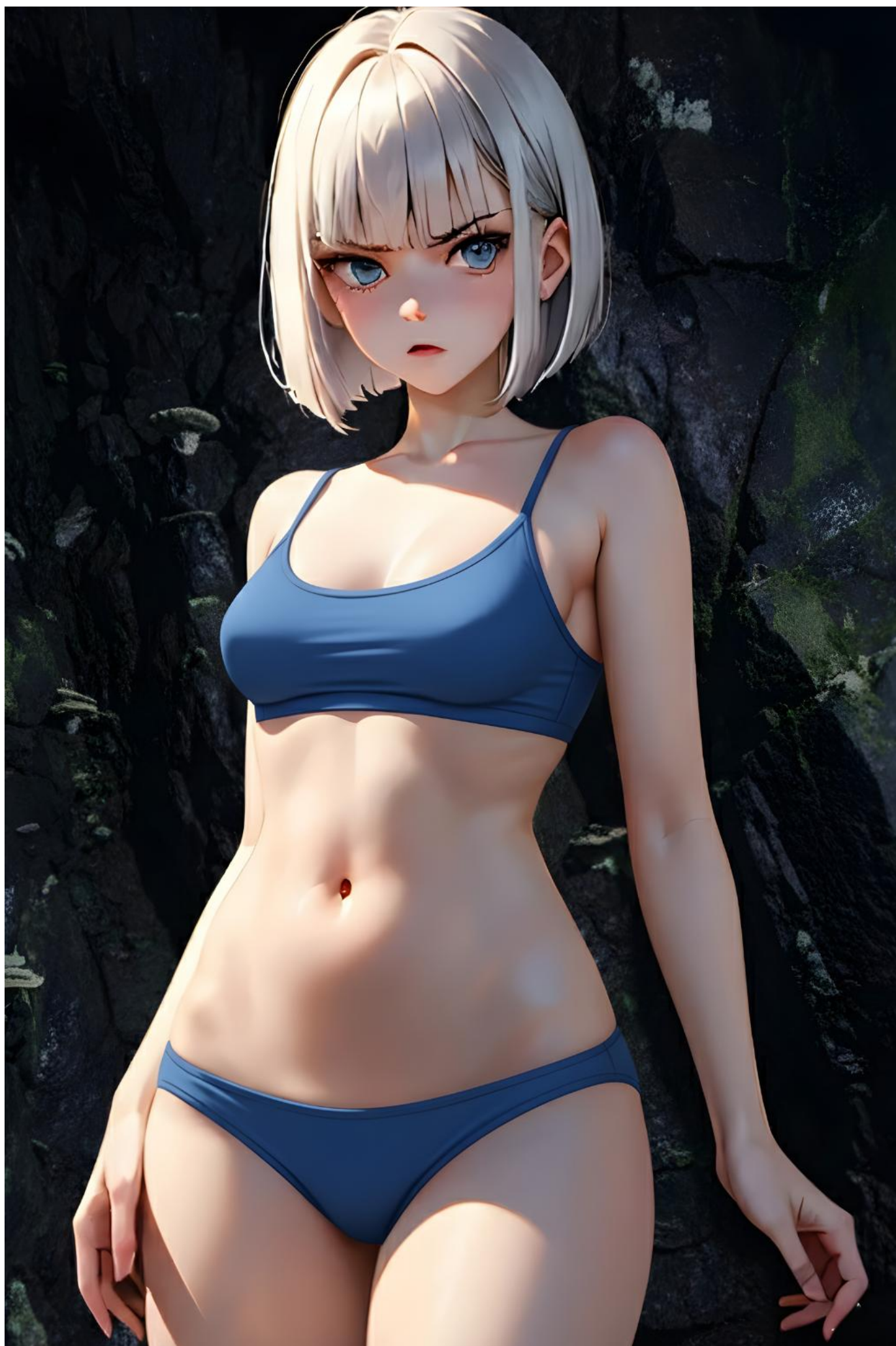


カーマ帝国の中心部、王城地下に
存在する絶対隔離区画
外部からの侵入は事実上不可能

〈封純殿(ふうじゅんでん)
Pure Vault〉



「ふうう…」





(この扉は、外部からの純潔エネルギーを“拒絶する”構造——
それなら逆に“飲ませすぎれば”
壊れるはず)

「受け取りなさい……
私の“純潔”の全てを!!」



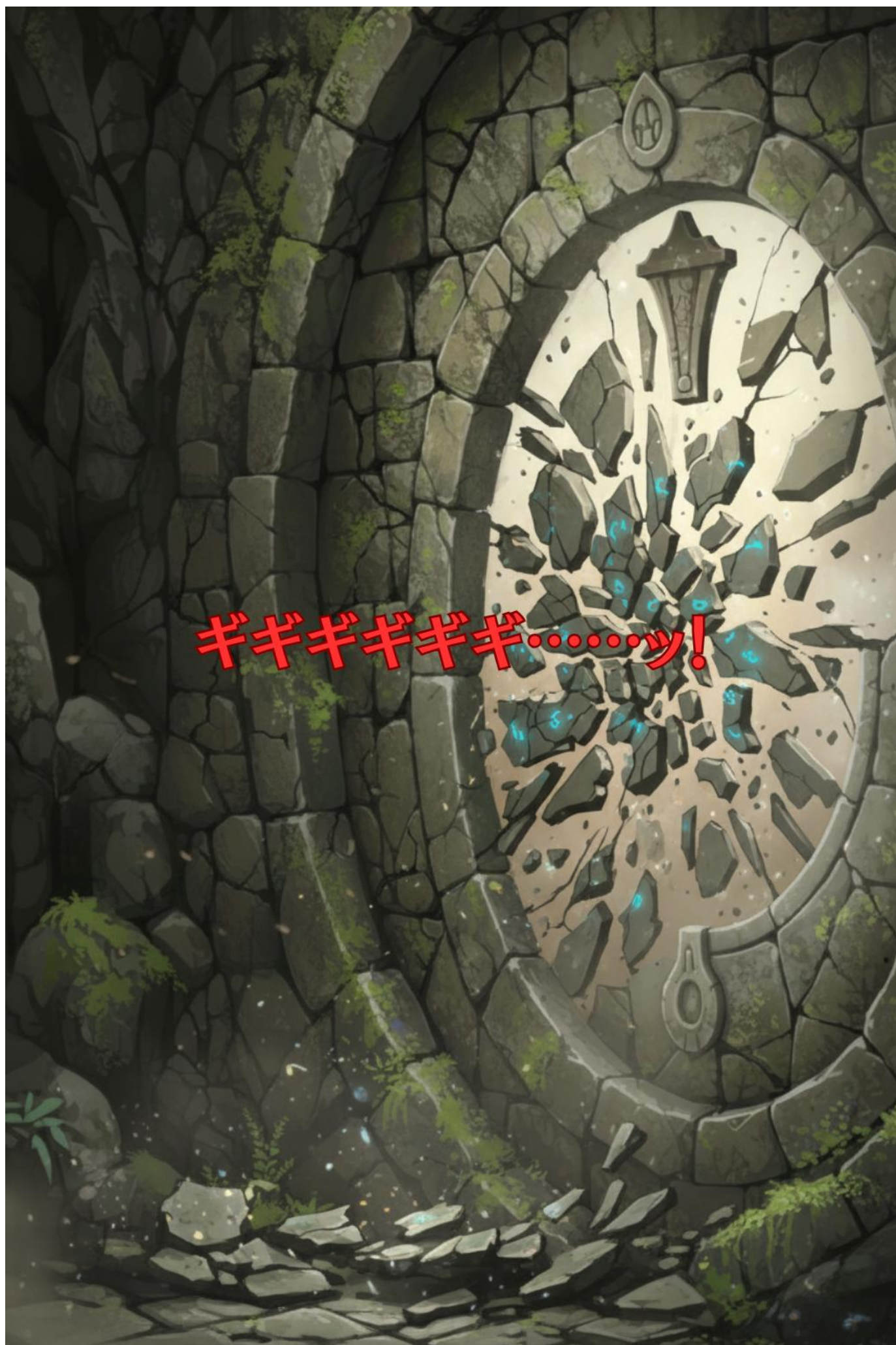
「制御できないくらいの量を……
くっ……想定より強い逆流……!!」

「はあああああ!!」





ドオオオオン!!



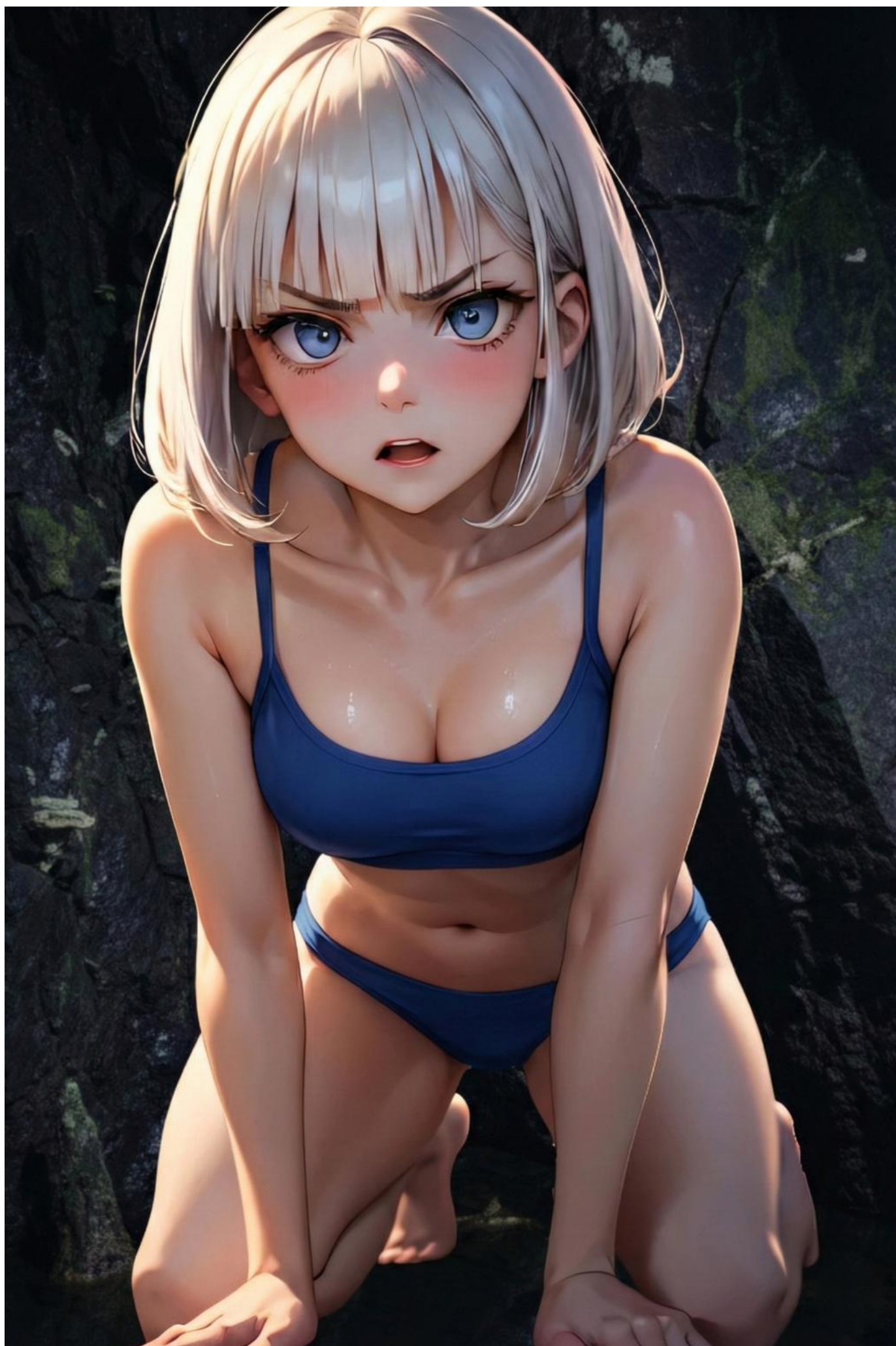
ギギギギギギ.....ッ!

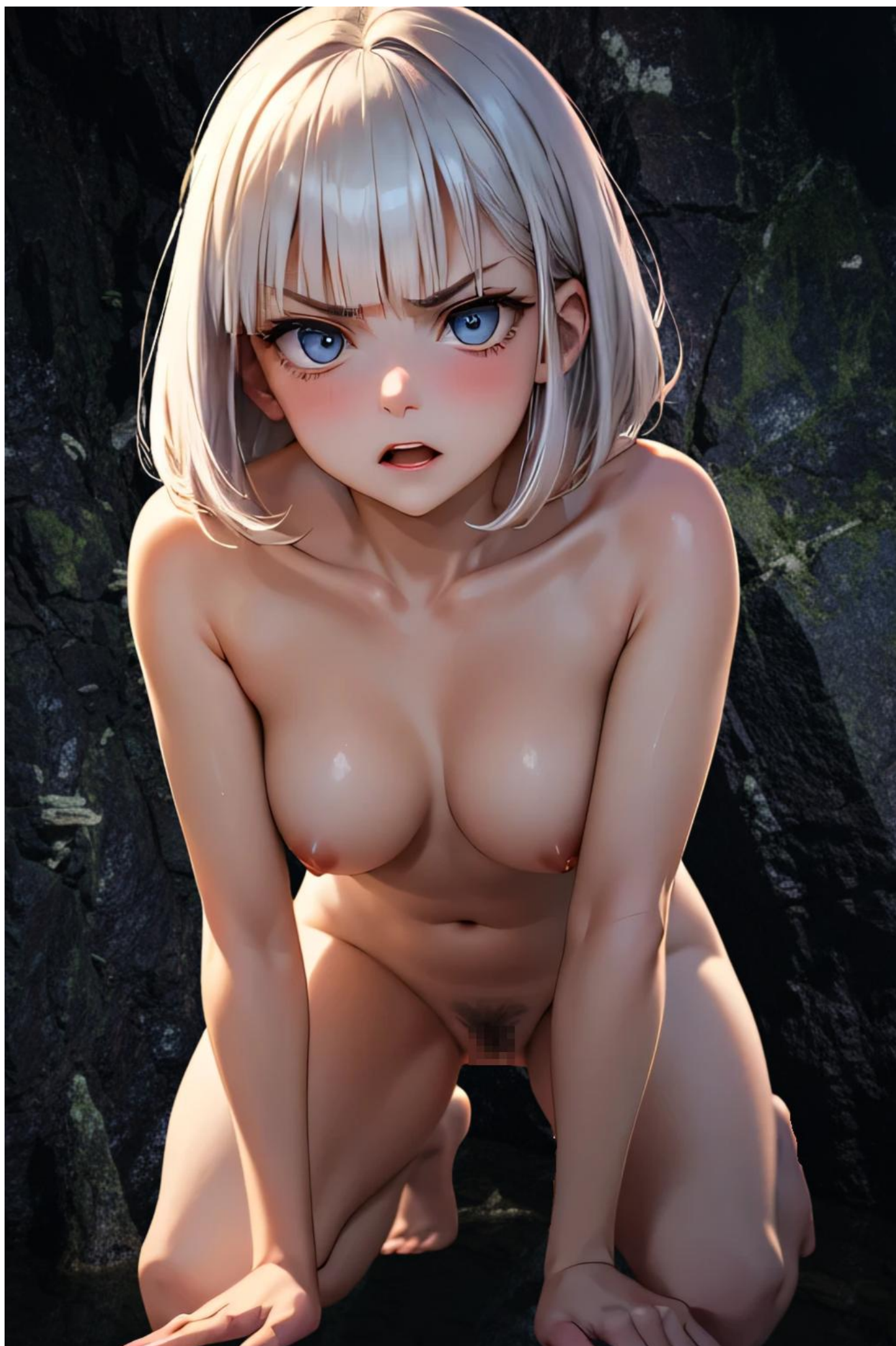
An illustration of a stone archway set into a dark, mossy stone wall. The archway is made of lighter-colored stones and contains a bright, glowing yellow-orange light. Above the arch is a small, circular stone ornament with a cross-like symbol. The floor in front of the arch is made of dark stones, some of which are broken and have glowing blue markings. The Japanese text 'バリィーーンツ!' is written in red across the middle of the image.

バリィーーンツ!

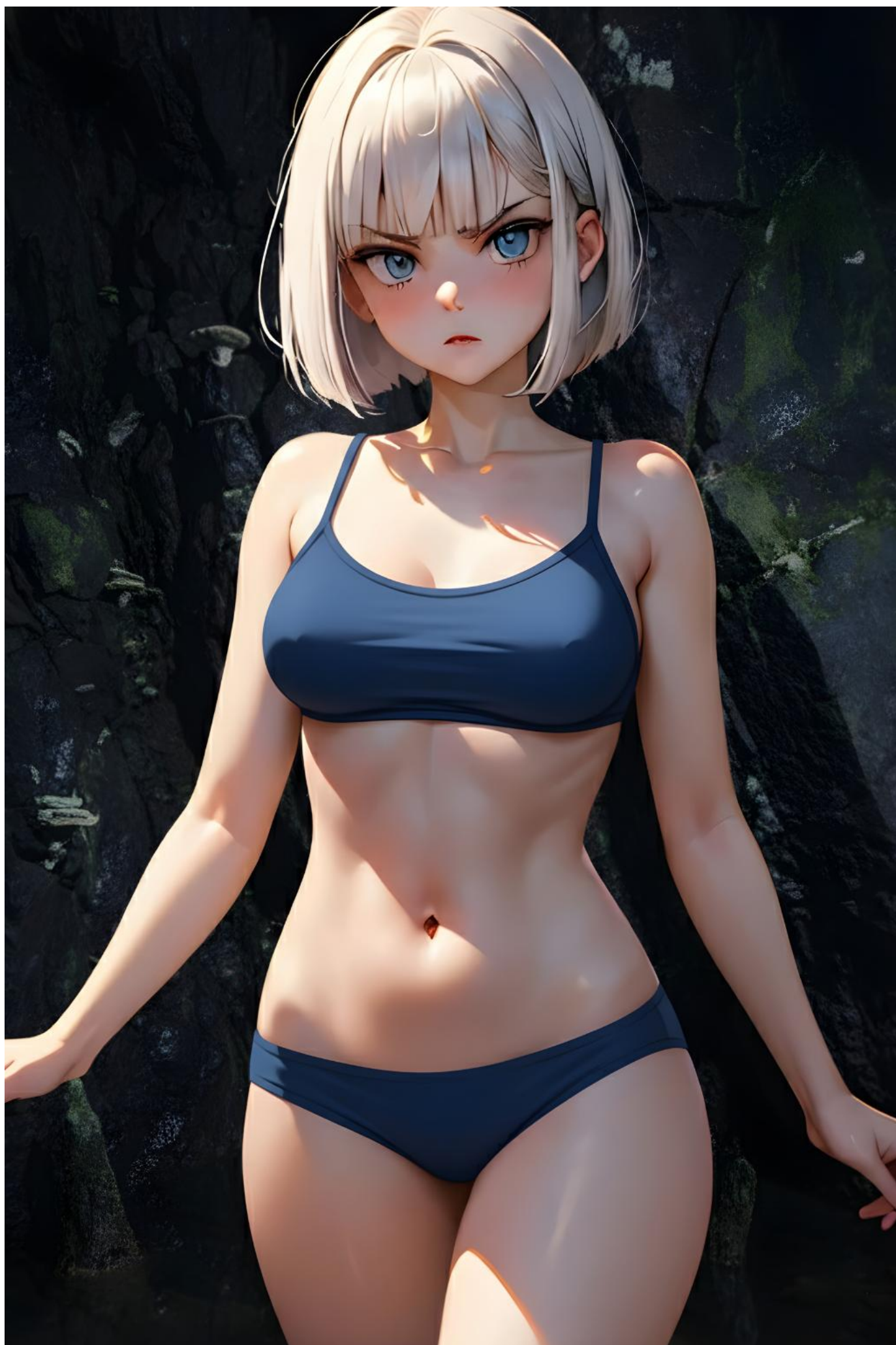


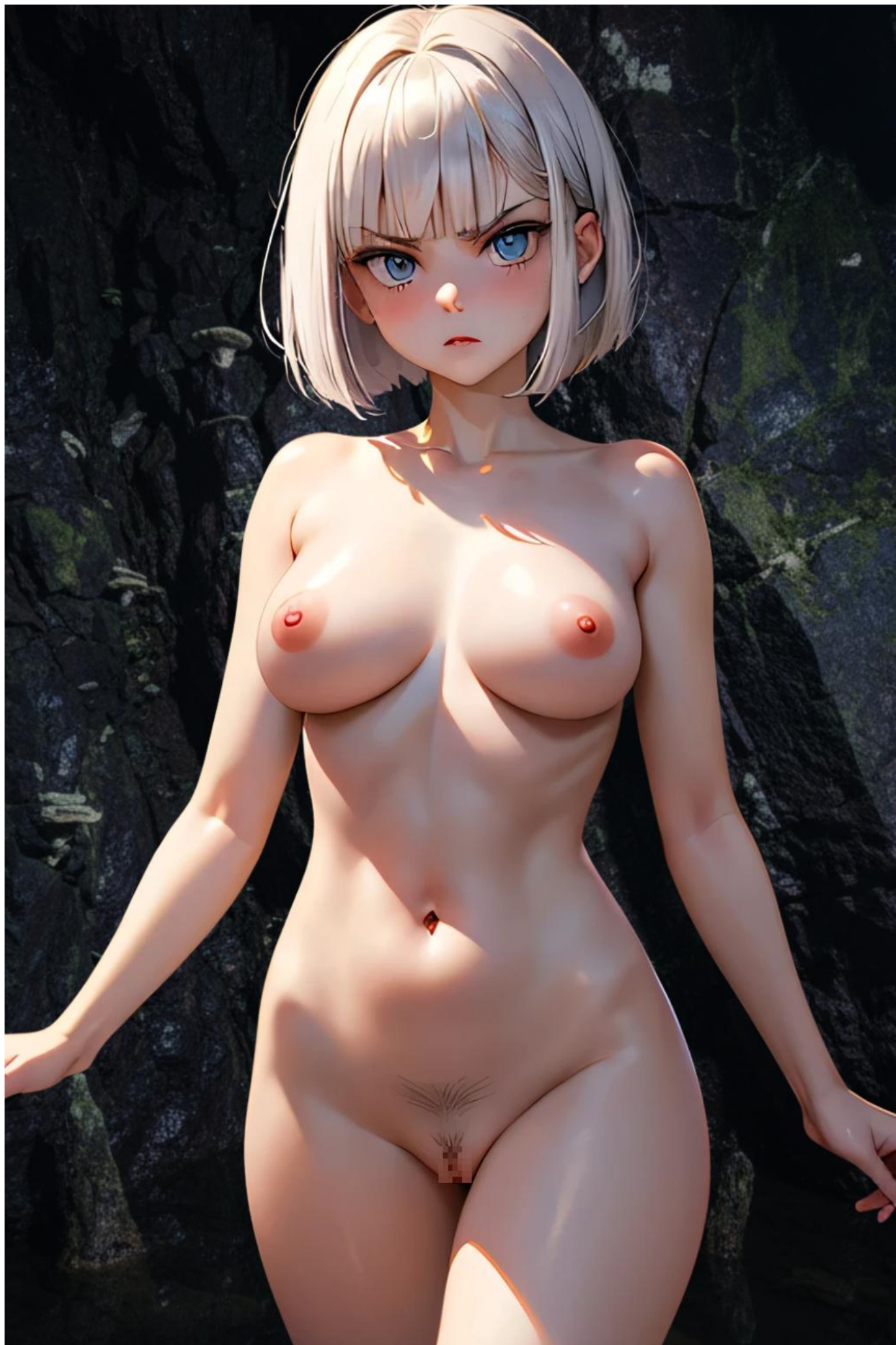
「はあ、はあ、はああ…やった…」











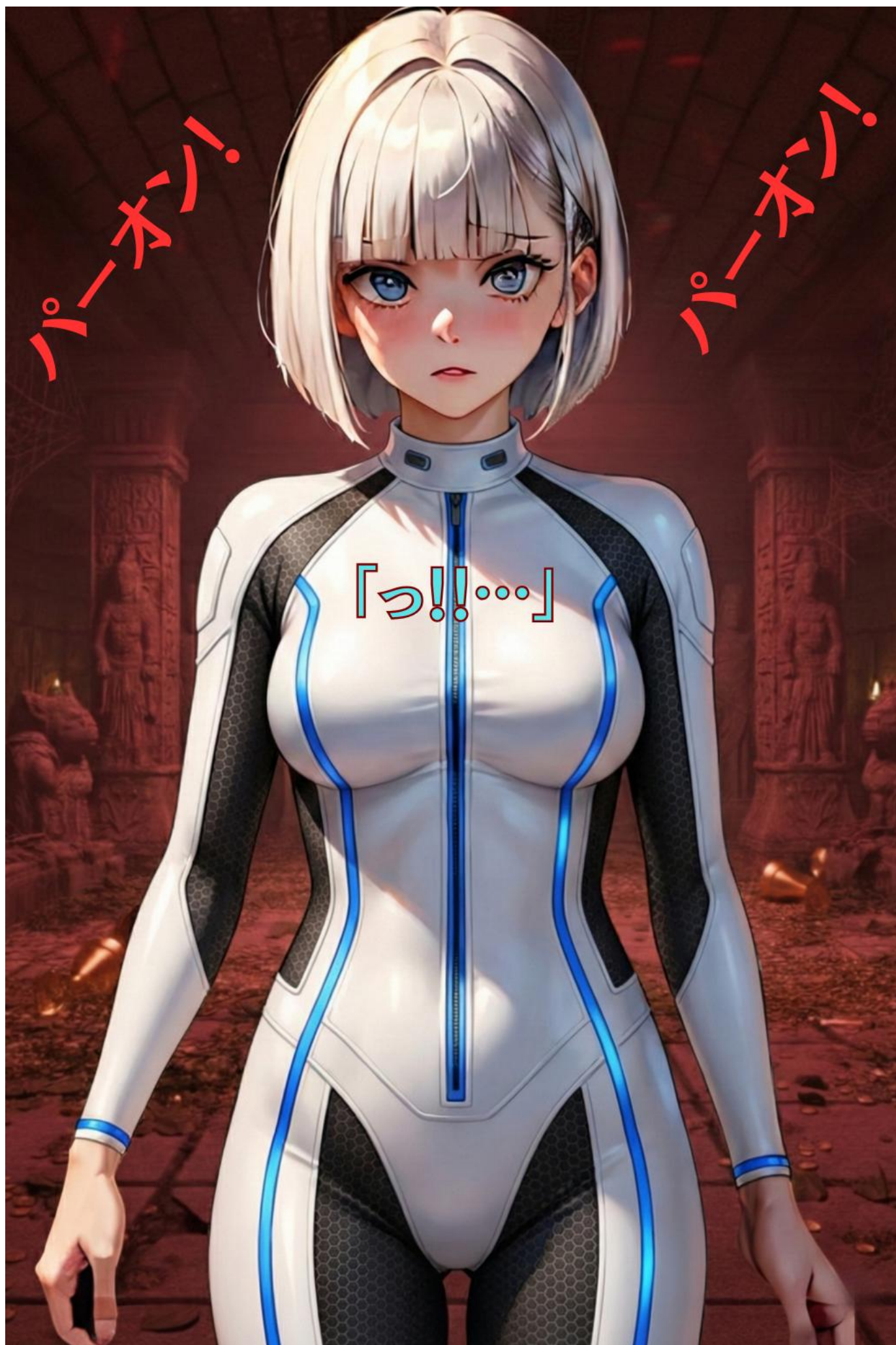


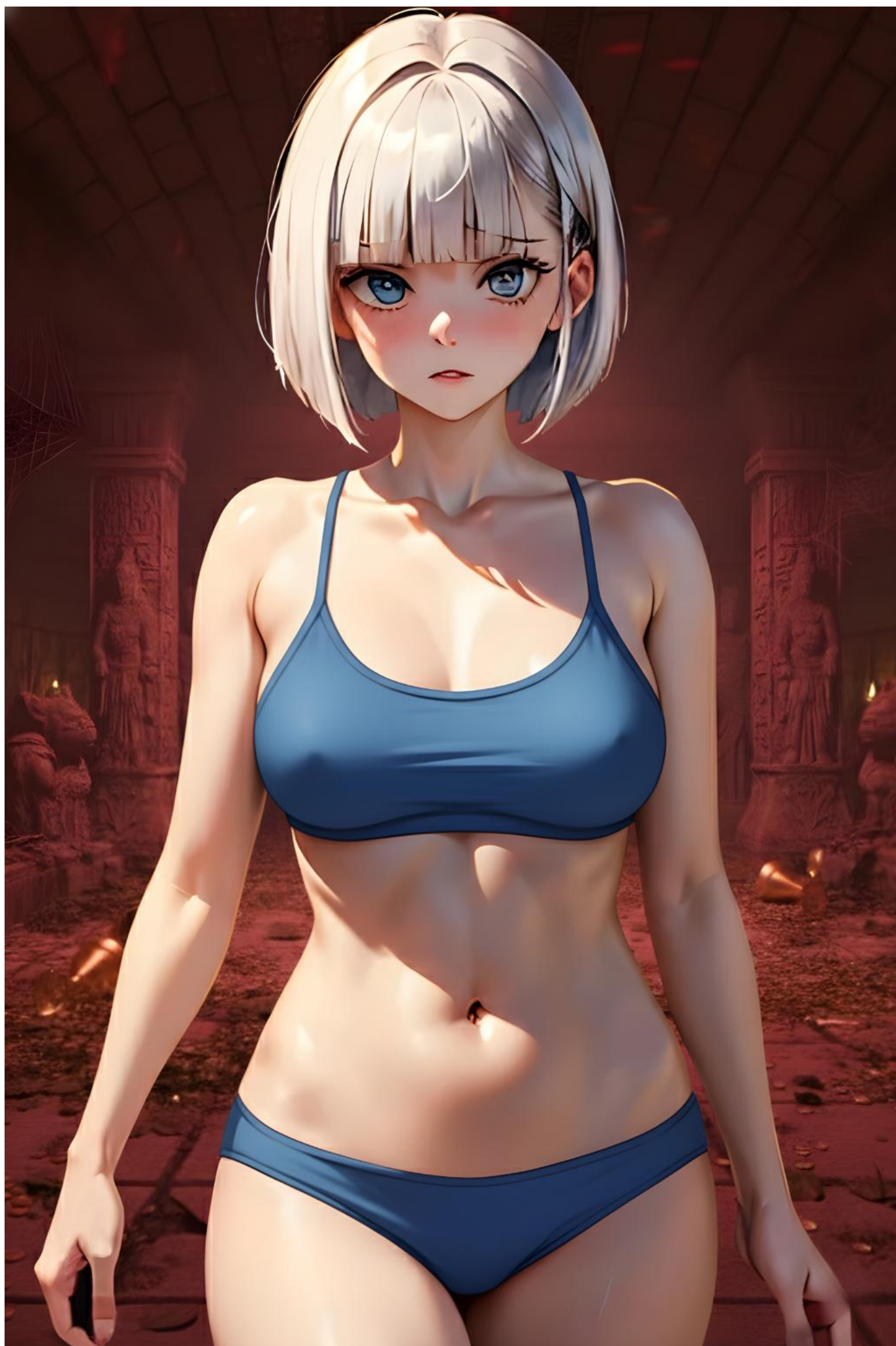
「これが、ピュアチェーンブレス!」

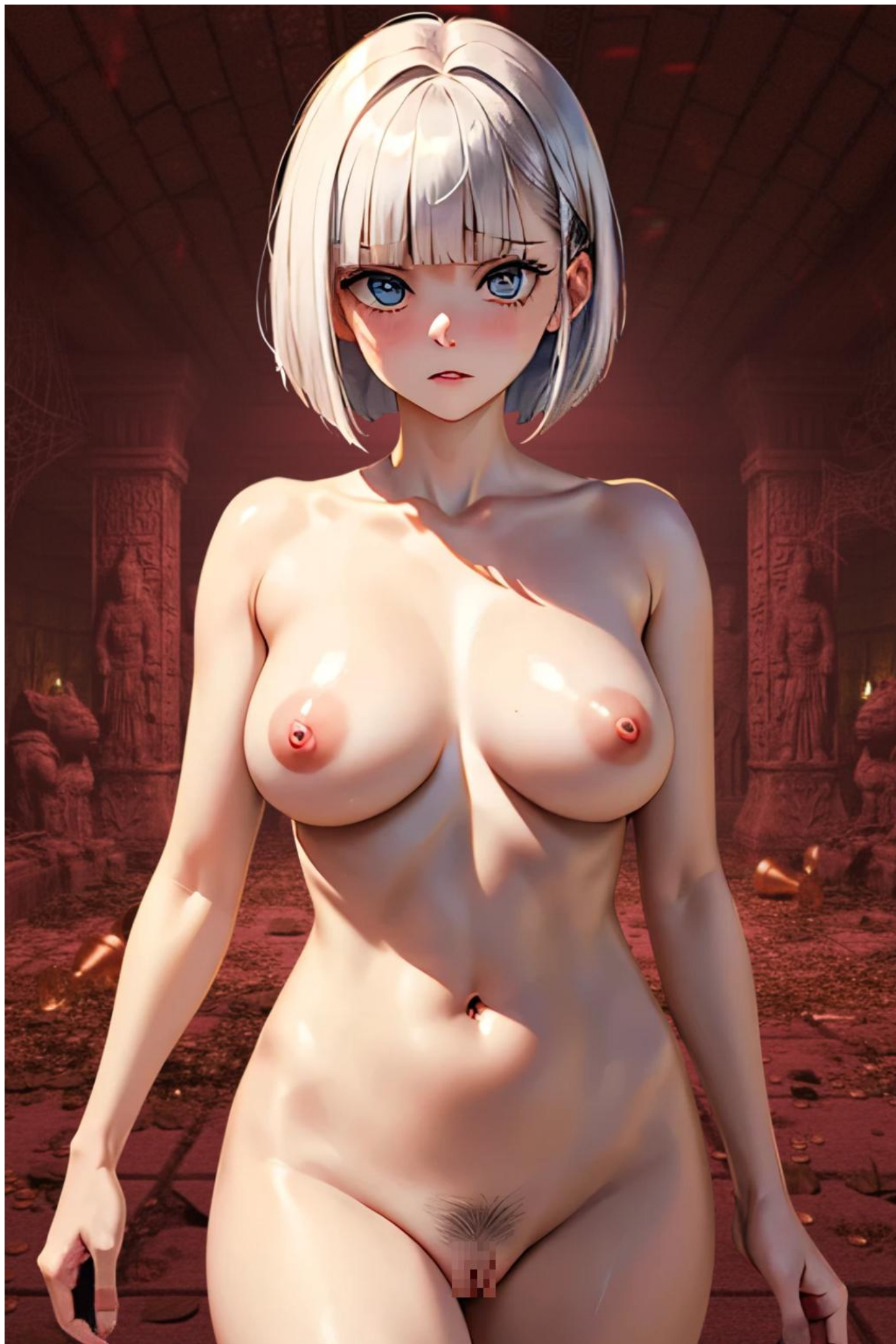


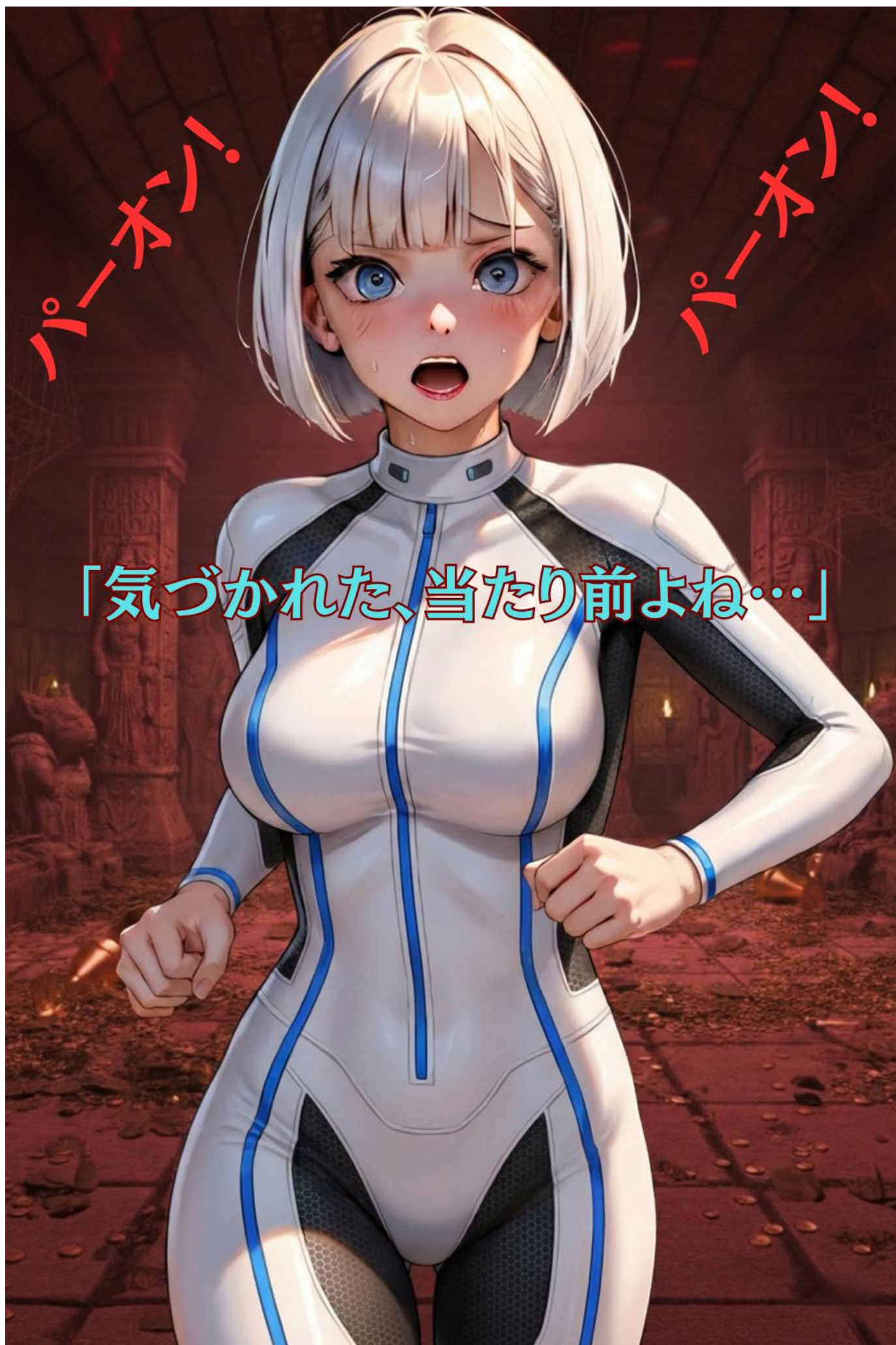


「收納完了 ♪」





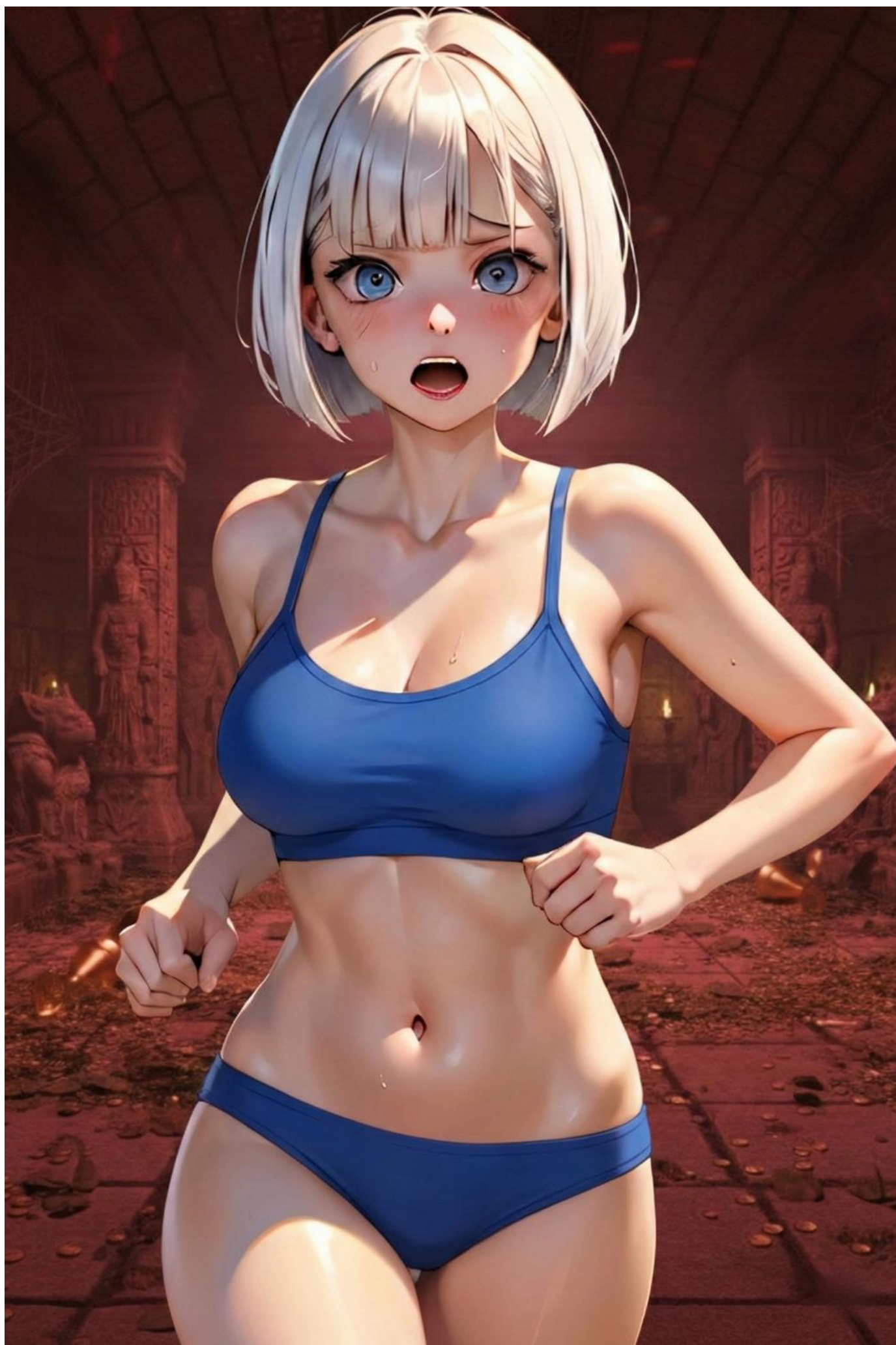


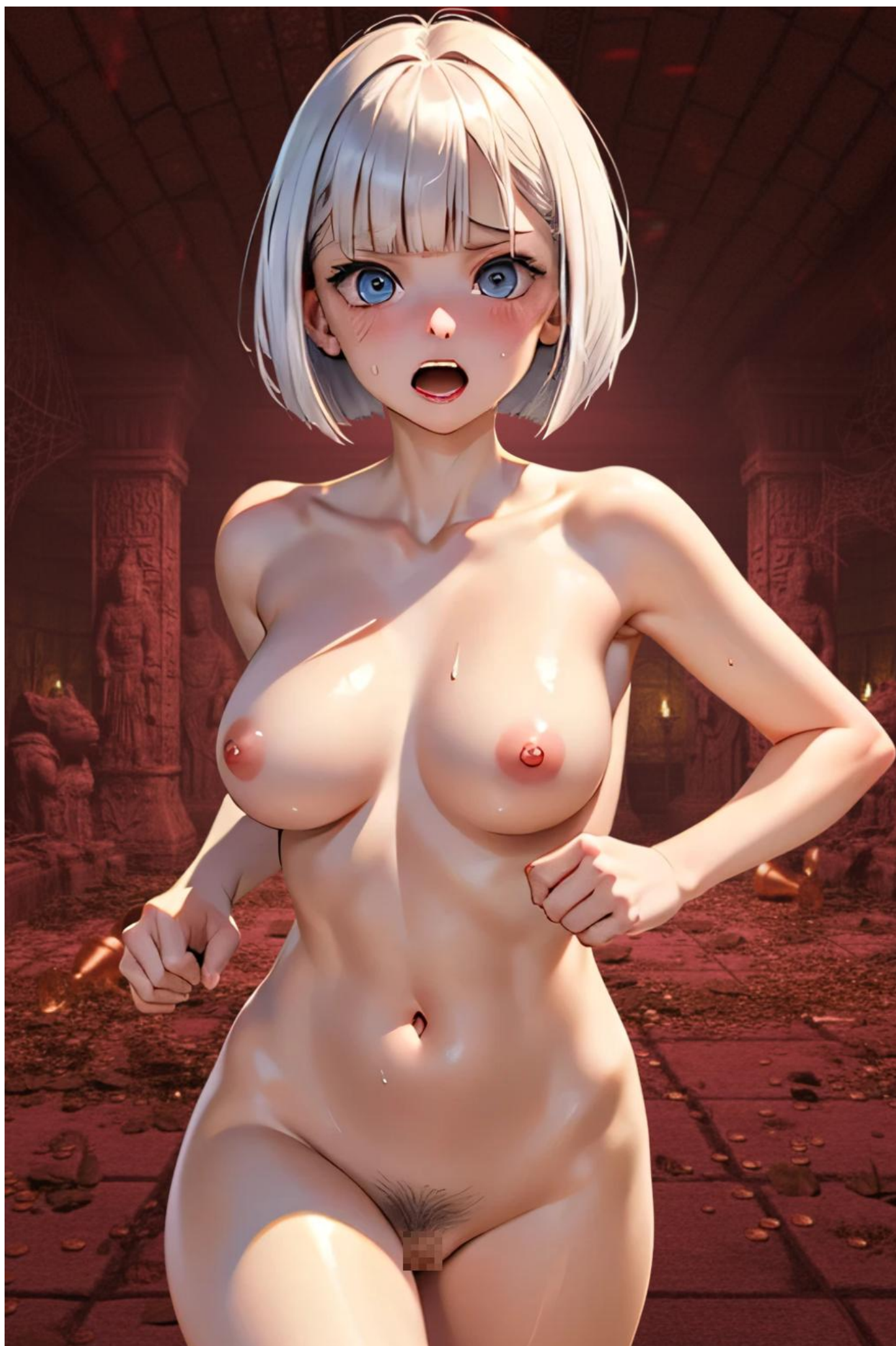


パーホー!

パーホー!

「気づかれた、当たり前よね…」







「何ごと?」

「何者かに、ピュアチェーンブレス
が盗られました!」

「防犯カメラの映像を回して!」



「リリース、やはりお前か!」

CAM11



「兵士を総動員しろ!
リリースを絶対に逃がすな!!」

「はっ!」





「えっ、リリスが
ピュアチェーンブレスを!!」





(リリス、何をするつもりなの?)

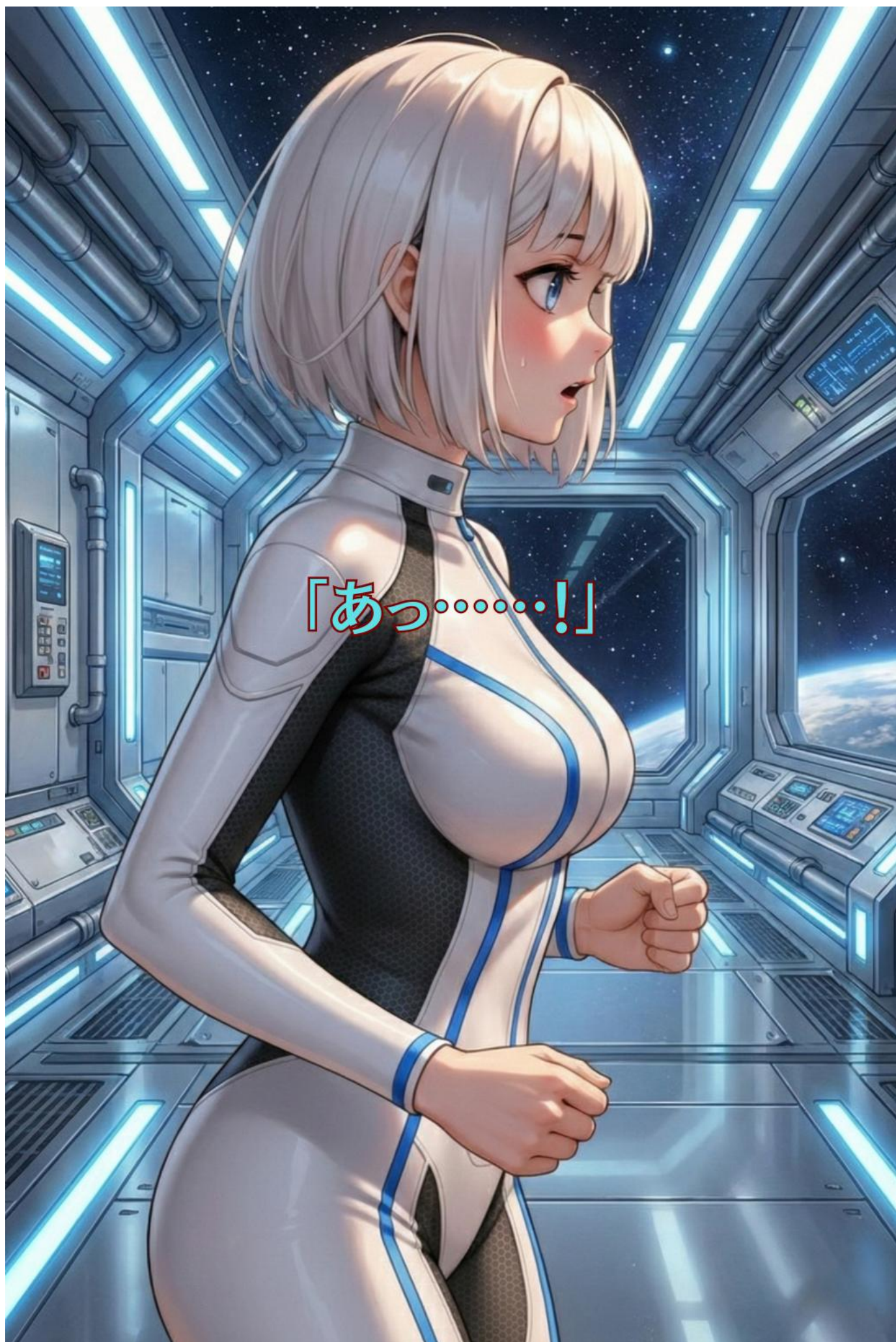




パーオン!

「はあ、はあ、はあっ!」

パーオン!

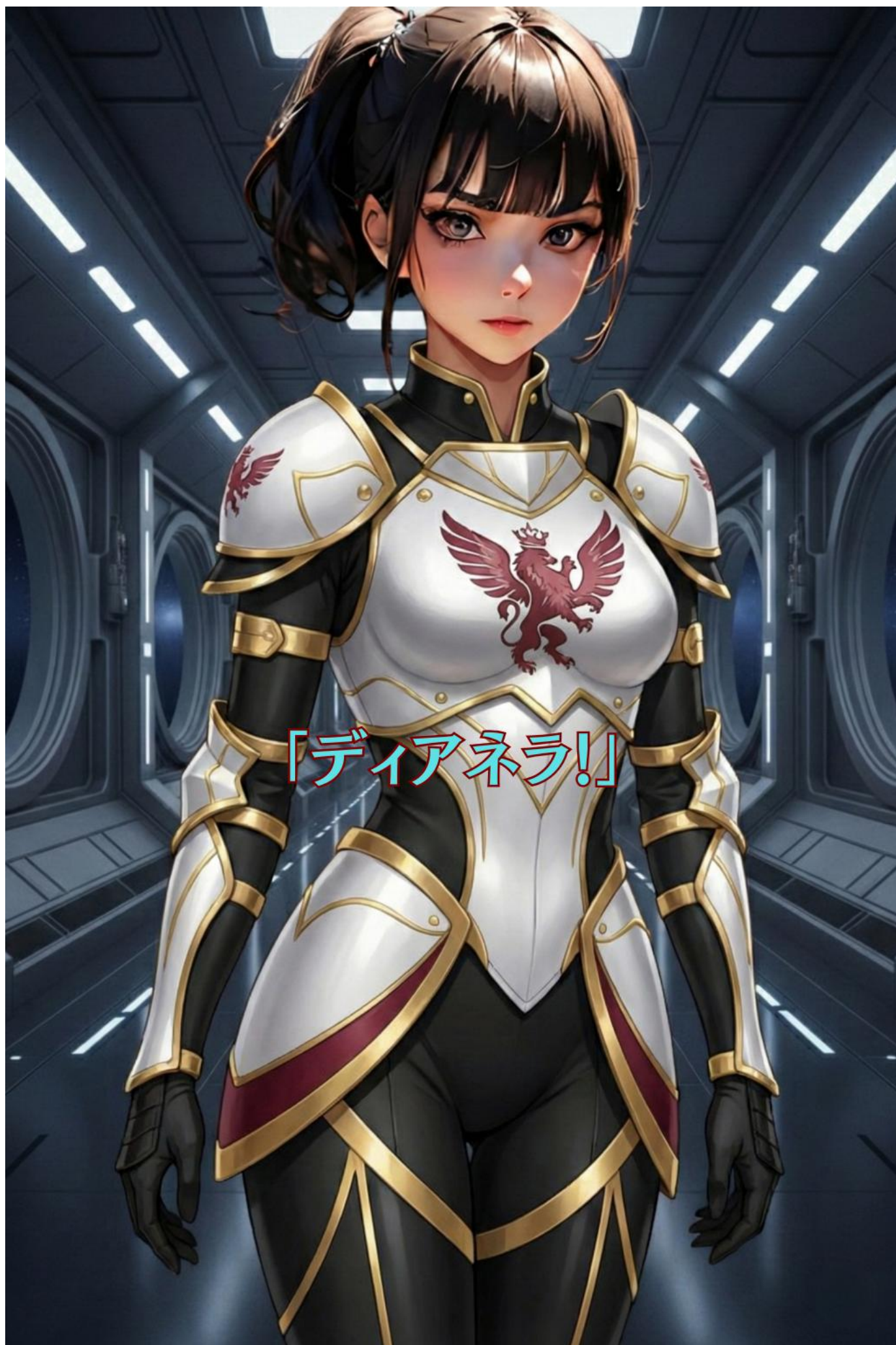


「あっ……!!」



「ちっ…!」







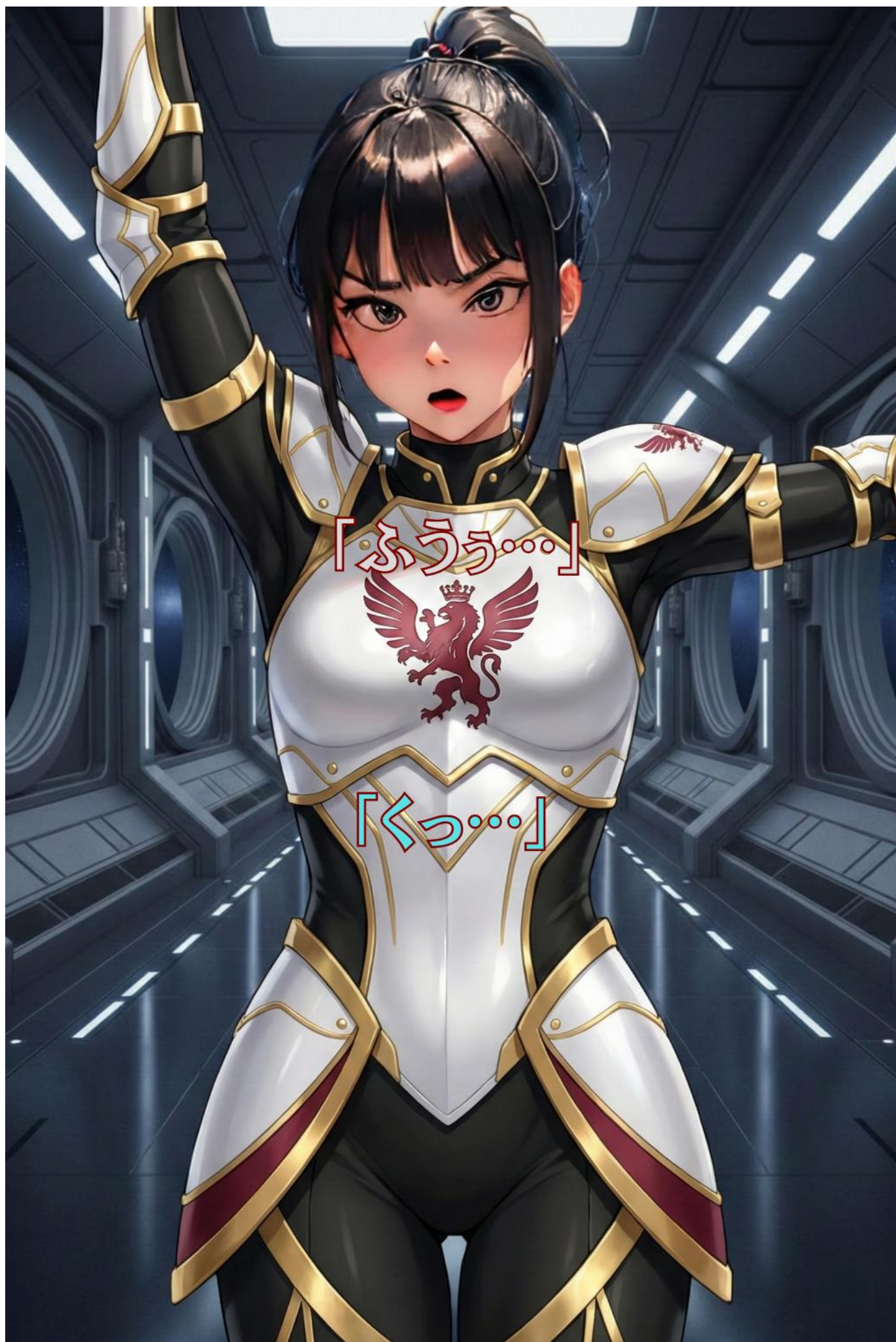




「待って、ディアネラ!💧💧」

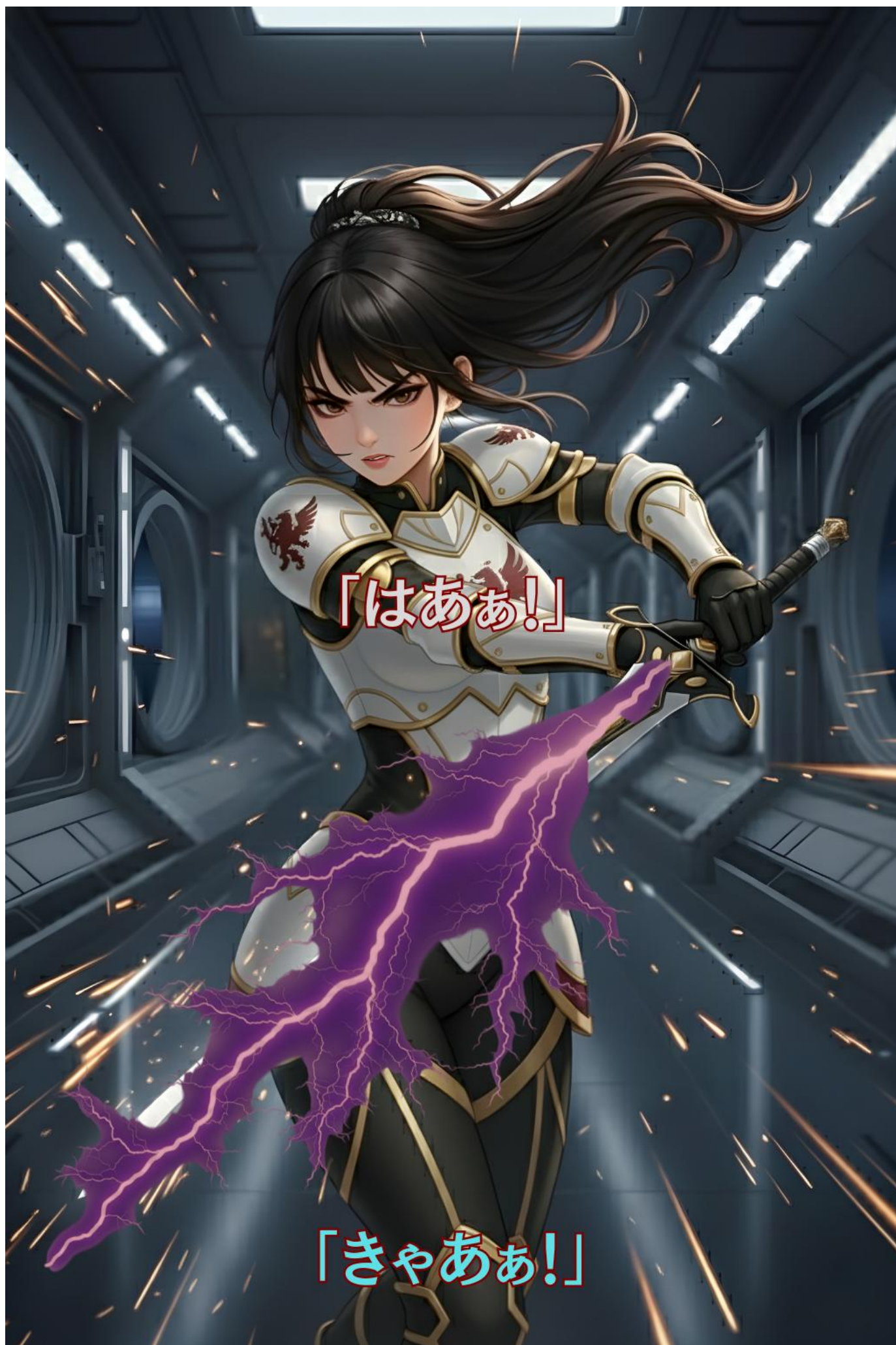


タッタッタ...









「はああ!」

「きゃああ!」

ドオォーーン！



「がふぁー！」

A white-haired anime girl with blue eyes and a surprised expression is kneeling in a futuristic, metallic corridor. She is wearing a white, form-fitting suit with blue accents and a black mesh section on the back. She is looking back over her shoulder at the viewer. The corridor has a high-tech, industrial feel with glowing blue lights and metallic walls.

「えっ、私を助けてくれたの？
どうして？」

A detailed illustration of a young woman with brown hair tied in a bun, wearing a white and gold armor with red accents. She is holding a sword and looking forward with a determined expression. The background is a futuristic corridor with blue lighting and metallic walls.

「私も、地球侵略には反対です
ここは私が引き受けます
行ってください、リス様!」



「ありがとう
でも、これであなたも反逆者よ
これからどうするつもり？」



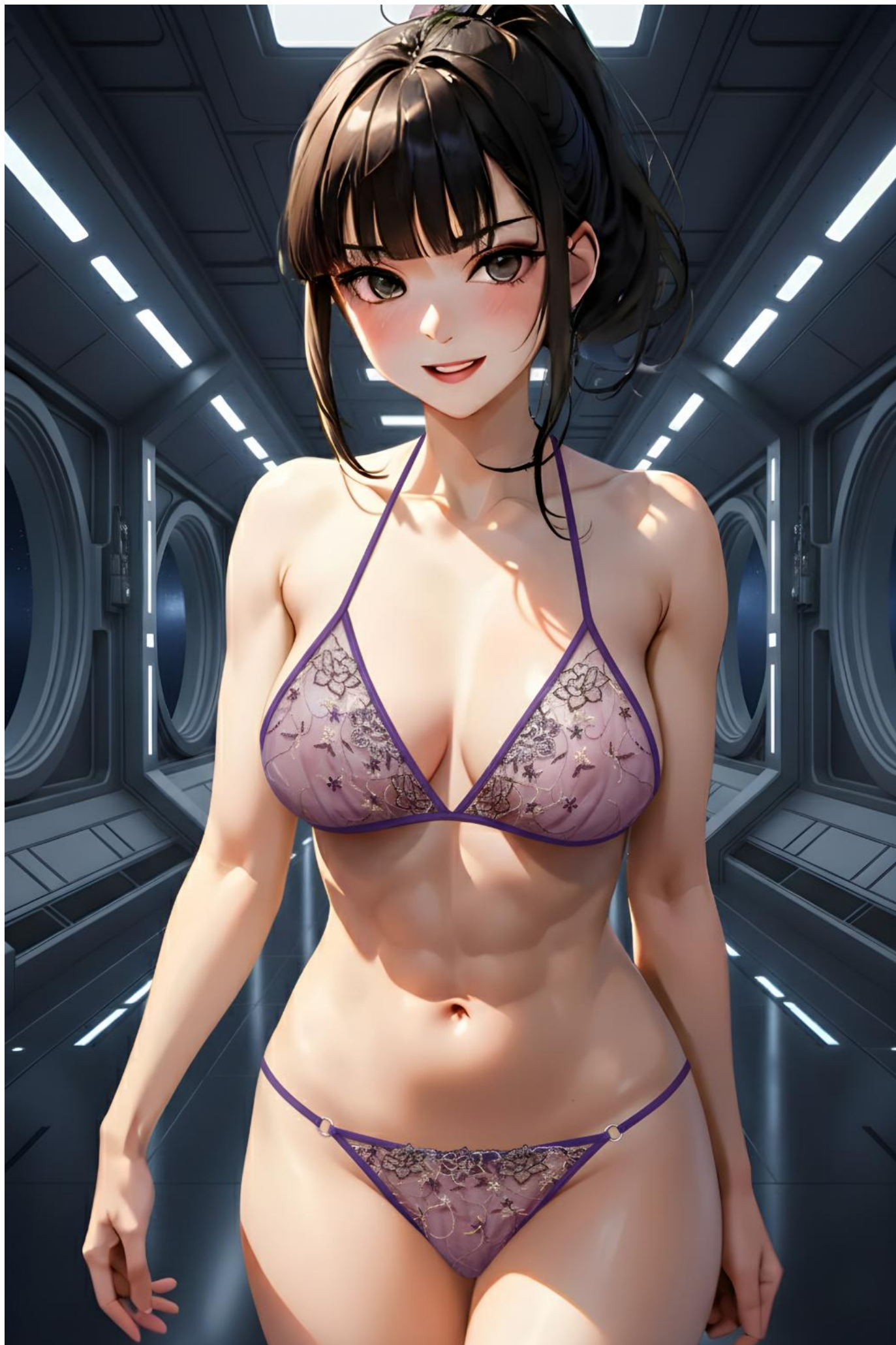




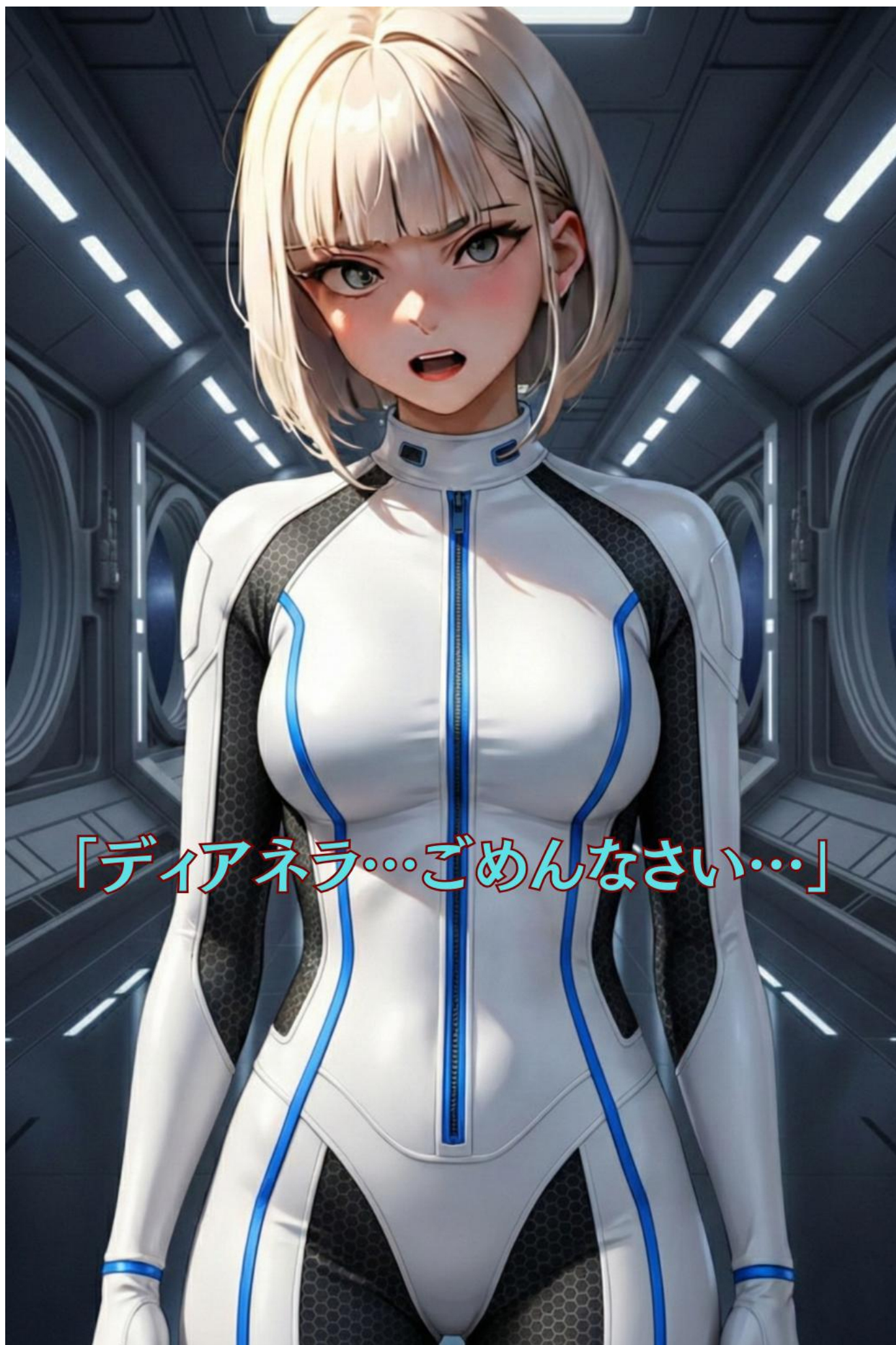
「反逆者と呼ばれても構いません
私の剣は、道理なき暴威には
従いません

女帝陛下の行いが正義でないの
であれば……

忠誠を捧げる理由は
もはやございません」







「ディアネラ…ごめんなさい…」



タッタッタ...



「さあ、もう行ってください」







「あなたがいたから
私はここまで来られたわ
どうか無事でいて」







タッタッタ...



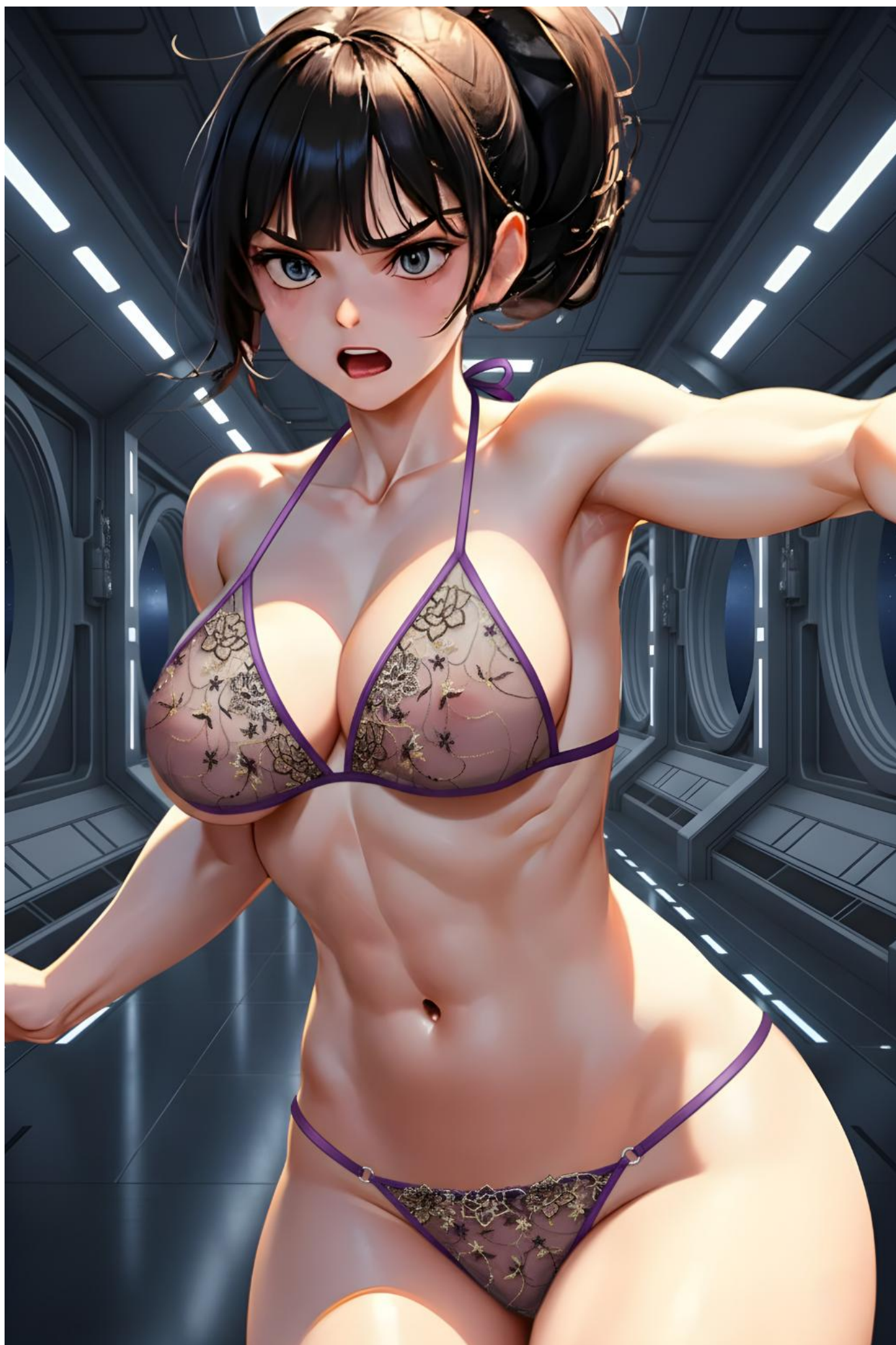
「ディアネラ…」

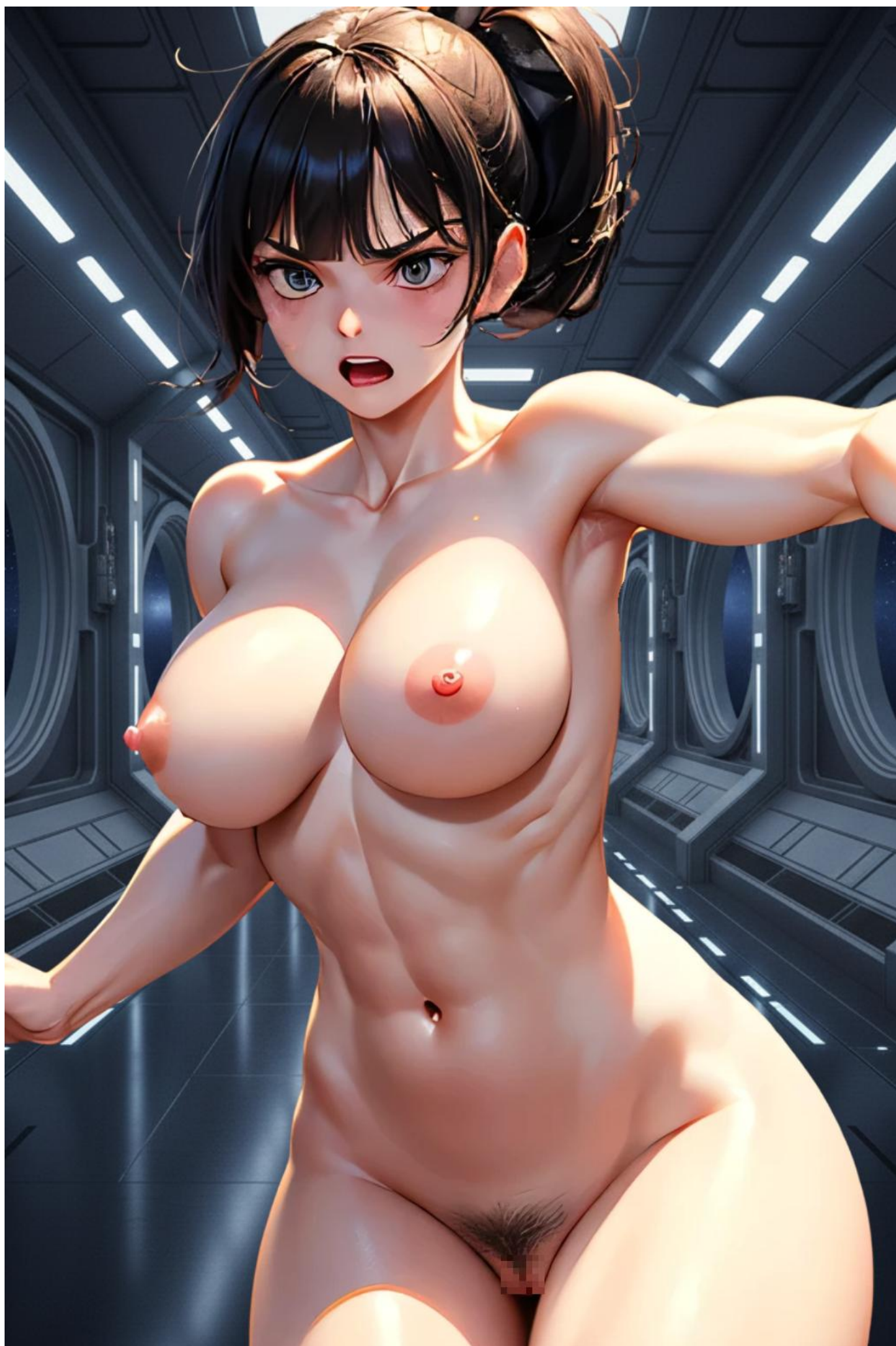


「そこをどけ！」



「いやだと言ったら?」







「あなたを倒す!」

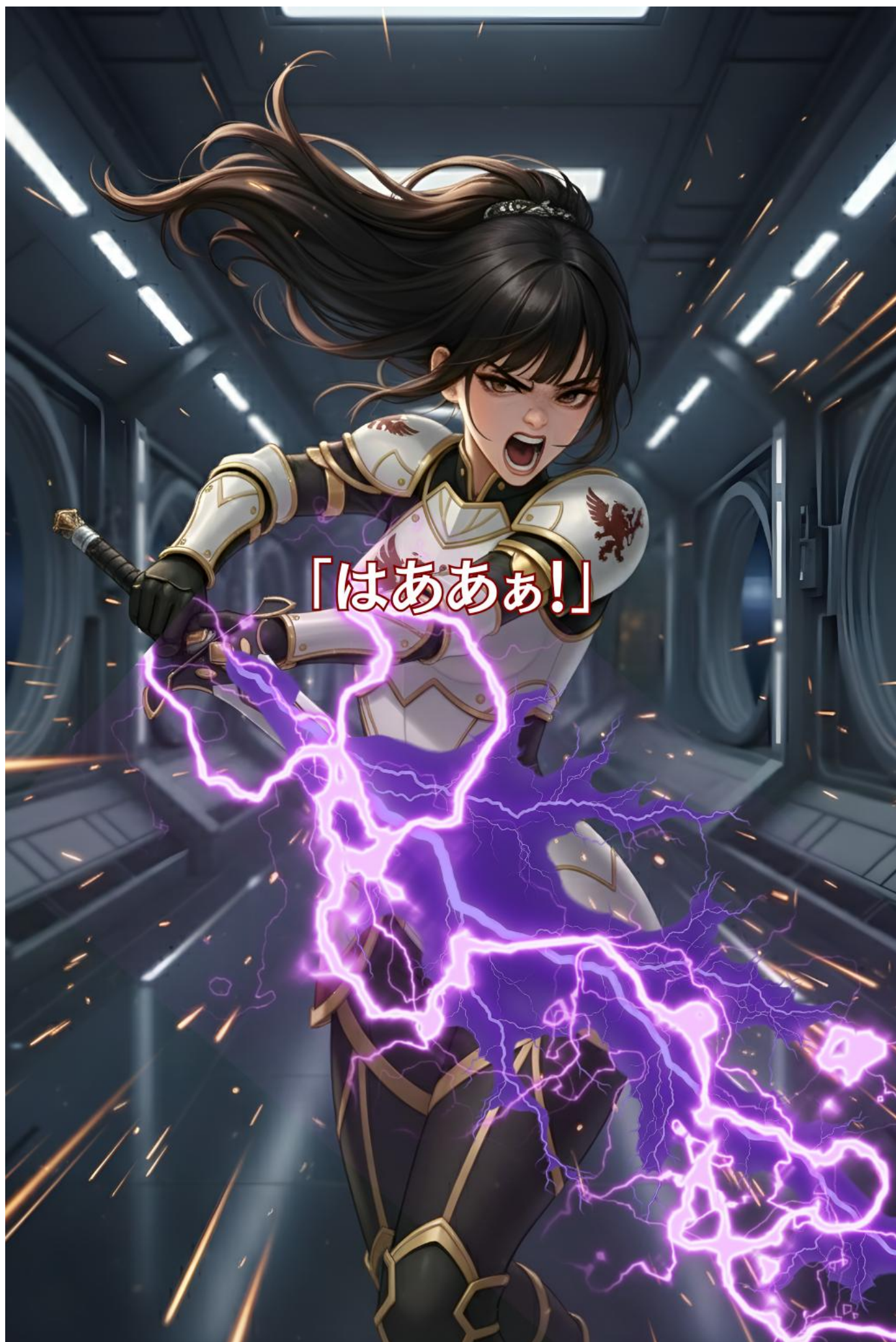


「お前たちに、私が倒せるかな？」









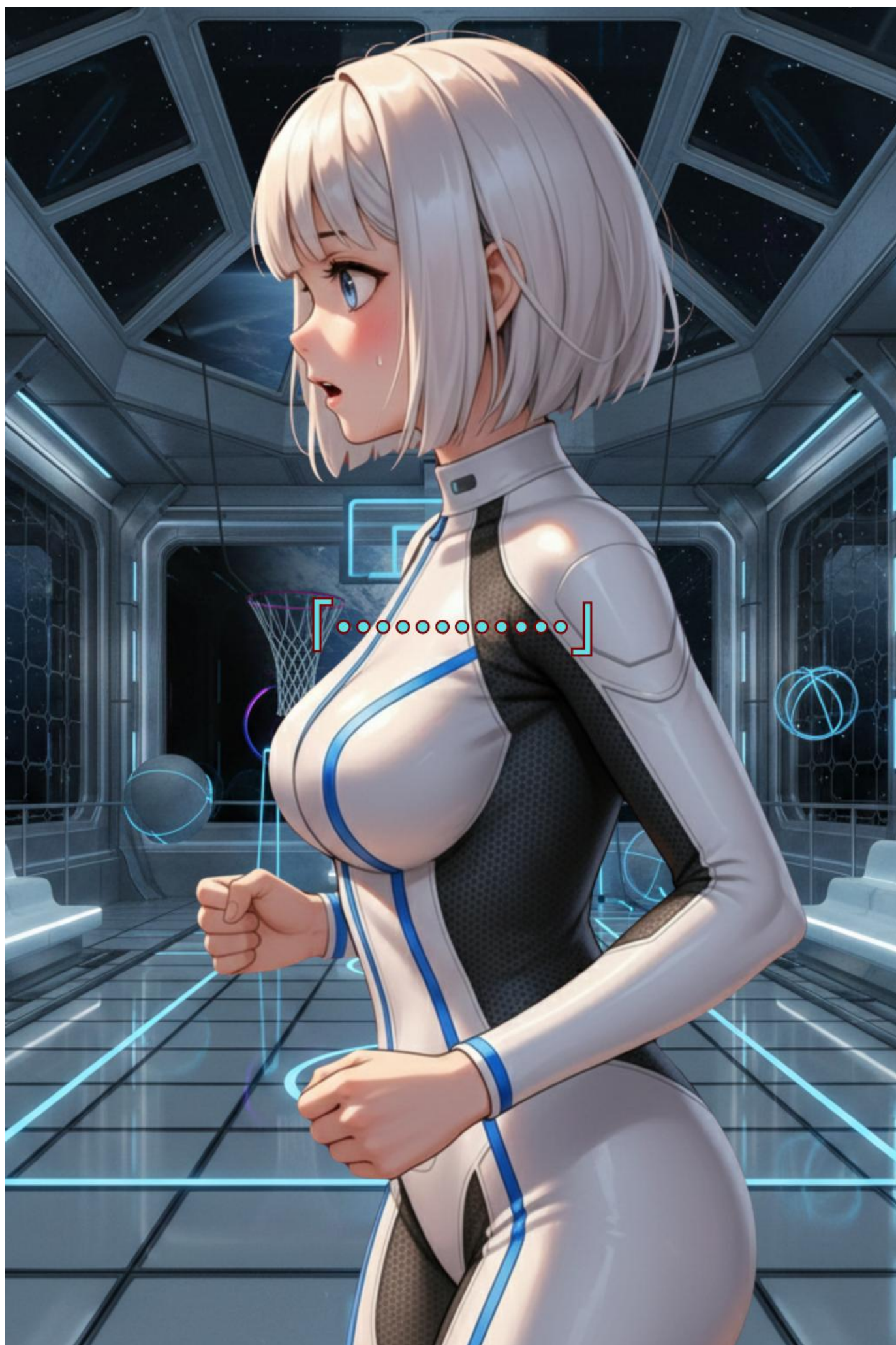
「はあああ!!」

ドカーン!!

「うあああ!」



「はっ、はっ、はあ…」





「ルミエルお姉さま…」





サンプルは、ここまでです。

続きを見たい方は、ご購入をお願いいたします。